

令和 2 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人祥風会

理事長 羽鳥 圭一

<目次>

白色

サポートセンター P 1 ~ 1 0

青色

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業
P 1 1 ~ 1 2

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P 1 3 ~ 2 6
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P 2 7 ~ 3 1
飛羽ノ園デイサービスセンター P 3 2 ~ 3 9
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P 4 0 ~ 4 1
土浦市在宅介護支援センター P 4 2 ~ 4 3

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里 P 4 4 ~ 6 2
デイサービス憩いの里 P 6 3 ~ 7 0
支援センター憩いの里 P 7 1 ~ 7 2
土浦市在宅介護支援センター P 7 3 ~ 7 4

黄色

飛羽ノ園デイサービスながみね P 7 5 ~ 8 3
土浦市ふれあいセンターながみね P 8 4 ~ 9 0

紫色

桜川保育園 P 9 1 ~ 9 8

令和2年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一
センター長 村山 直希

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3520
FAX 029-896-3522
URL <http://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

①施設関連

・「飛羽ノ園」は交換済みの食堂ホール以外の LED 交換、介護用品等を保管しておくための物置をユニット外部に設置、従来型廊下 3 カ所の既存洗面台は長年使用しておらず、感染症対策の観点から車いす対応の洗面台に入れ替えの工事を行った。

受水槽のバルブ故障に伴う不具合、業務用洗濯機・汚物処理機の排水不具合、デイスサービス給湯器の不具合による施設利用者へのサービス提供や職員の業務効率に支障があったため修理を行ったが根本的な解決になってはおらず、安心安全なサービス提供を継続する観点からも給排水等の設備面での大規模更新が急務となっている。従来型のトイレは老朽化のため、入居者が利用しやすいレイアウトへの変更、感染予防のために居室に扉の設置を検討、業務用エアコンも不具合が多くみられるので更新工事を計画的に実施していく必要がある。

・「憩いの里」は業務用エアコンの更新工事、施工不良によるバルコニーから浸水のためデイスサービス静養室からの雨漏りの修繕、入居者のベッドからの転落防止や職員の業務負担軽減のためセンサーベッドを 4 台導入、屋根材のコロニアルの剥がれに関しては費用や今後のメンテナンスを考慮して屋根材を検討し、次年度に入札を実施し、更新予定である。

・「ながみね」はデイスサービスを平成 15 年 6 月から土浦市の指定管理者として運営してきたが、令和 2 年度で閉鎖となり公設民営としてのデイスサービスの役割を果たした。ふれあいセンターは平成 23 年 4 月より土浦市の指定管理者として福祉センターを運営したことでより一層、祥風会として地域に根差した福祉サービスにつなげることができた。デイスサービスの閉鎖に伴う利用者の他事業所への移行は令和 2 年 12 月中に完了し、利用者に不都合とならないよう心掛け、ふれあいセンターの次の指定管理者への引継ぎもスムーズに実施することができた。所属していた職員に対しても祥風会で継続して働けるように他施設での勤務継続を促し、各施設に異動した後もフォローできる体制を整備した。

・「桜川保育園」は祥風会として初となる保育事業の運営初年度となり、公立桜川保育所が長年運営してきた良い面は踏襲し、私立保育園としての新しい取り組みを職員一同で模索しながら大きな事故も無く、園児や保護者に対しても民間に移行となる不安感の解消に努めながら運営することができた。園庭の整備、遊具の設置完了が 5 月となり、園舎の完成後に遮熱フィルムの施工、1 階テラスに柵とオーニングの設置、塩素水生成器の導入を行い、園児が心身ともに健やかに活動でき、衛生面にも配慮した様々な取り組みを行った。新型コロナウイルス感染症のための対策を講じ、運動会は保護者不在で実施し生活発表会では人数制限を行い開催することができた。令和 3 年度からは定員 90 名利用となるため各種物品等の整備や園児の保育生活面での配慮や保育者の心身のストレス等に配慮した運営を行い、地域から選ばれる保育園として運営していきたい。

2. 重点目標に対する成果

①機能の強化

中間管理職層の育成強化として外部講師を招いた祥風会スキルアップ研修（全3回）を感染症対策を講じながら実施し、経営理念の浸透や介護、保育に対する個々の考え方や思いを共有することができた。予算、決算書や稼働率等の会計にかかわる領域の理解、経営戦略等の策定には至らなかったが、経営理念の浸透といった社会福祉法人職員として理事長の思いを理解できたことは非常に意味あるものであると感じた。

ホームページリニューアルに関しては公開一步手前まで来ているので令和3年度にはスマートフォン対応のサイトにし、各種SNSを活用し、情報発信ツールとして内容を充実させていきたい。

勤怠システムに関しては給与や人事システムとの連携がスムーズにできるシステムの導入に向け、継続検討しており、費用対効果を考慮したうえで令和3年度には導入し、更なる業務効率に向け移行を進めていきたい。

②堅実な財政管理、運用

新規事業や既存施設の修繕等を視野に入れ、計画策定までの動きはできなかったが予算管理をすることで適切な財政管理に努めた。今年度はながみねの事業閉鎖もあり、令和3年度は拠点区分間での資金のやり取りが減少すると思われる。次年度は収支差額を積み立てできるよう計画的かつ適正な額を積み立てていくことで今後の事業拡大や大規模修繕等に備えていきたい。経費削減としては新型コロナウイルス感染症により感染予防対策にかかる消耗品に関しては価格の高騰があり、サポートセンターで大量発注、管理し、各施設に配布することで経費の向上を抑えることができた。

③人材確保・育成・管理

新型コロナウイルス感染症の影響で高校や専門学校への訪問はできず、求人票の送付のみとなり、新卒者の確保には至らなかったため次年度は訪問することで福祉、介護・保育業界の魅力を伝えていき、新卒採用につなげたい。各種媒体で未経験の無資格者を採用することで異業種での経験を活かし、組織の活性化につながっているため今後もリーダー候補者としても視野にいれ、必要に応じて採用していきたい。定期的な介護施設間の人事異動では、今まで所属していた施設との異なる点の理解や交流のなかった職員とのコミュニケーションにより、自身のスキルをさらに高める意欲の向上や、施設間の平準化をすることで異動した後でもスムーズに業務に入れるような取り組みを行い、介護の質の向上に繋げることができた。

【総括】令和2年度は新型コロナウイルス感染症によって今までとは違った施設運営が求められ、利用控えによる稼働率の低下に伴う収入減や感染症対策による支出増となったが、感染症対策を常日頃から意識した施設運営をしていたこと、職員一人ひとりの意識が高かったことにより各施設利用者、園児を含め感染者を一人も出すことなく新年度を迎えることができたので継続して感染症対策を実施していく。支出増に関しては職員への慰労金、感染症対策費用の掛かりまし経費の支援金により極端な支出増とならずに運営することができた。介護施設では窓越し、WEB面会を取り入れることで入居者、家族の精神面の安定に配慮し、各施設での恒例行事も中止することなく、感染症に配慮しながら実施することができた。また、社会福祉法人としての役割と認識し、各施設に設置してある次亜塩素酸ナトリウム生成器で生成した塩素水を利用者のご家族や地区長を經由して施設の所属する住民に配布することで地域の感染予防にも貢献できた。今後は地震等の災害に感染症対策や地域との互助を含めたBCP対策マニュアルを見直し、施設利用者に安心安全なサービスの提供を継続できるよう早急に整備していく。

【各種規程の作成、変更】

- ・令和2年4月・・・職員給与規程変更（特殊業務手当及び役職手当に保育士追加、他一部文言修正）
（別表1（第5条）に保育士追加）
職員就業規則変更（第3条、第4条、第16条の一部文言追加・修正）
（別表1（第20条）に保育士追加、他一部文言修正）
役割等級制度規程変更（第3条、第4条に保育士追加）
（別表2、3、4、5、6に保育士追加）
定款変更（第一条に保育園追加）

- ・令和2年7月・・・職員給与規程変更（介護職員等特定処遇改善加算一時金、保育職員等処遇改善加算手当の追加）
定款変更（保育園の敷地面積、建物追加）

2. 事業内容

* 祥風会設立認可・・・平成元年 6 月 26 日

* 創立登記・・・平成元年 6 月 27 日

* 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成 21 年 8 月 10 日

* 土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6 階(平成 24 年 12 月に移転)

* 介護職員初任者研修事業開始年月日(平成 26 年 4 月 1 日)平成 26 年 2 月 14 日指定(指定番号 45)

* 実務者研修事業開始年月日(平成 30 年 6 月 1 日)

事業所名		所在地	事業開始年月日	介護保険指定日	事業所番号		
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県土浦市 小松 3-18-18	平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241		
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日	0890300106		
	短期入所生活介護支援事業所		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241		
	飛羽ノ園デイサービス		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300431		
	土浦市在宅介護支援センター		平成 6 年 8 月 17 日				
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成 11 年 11 月 30 日	平成 11 年 11 月 30 日	0870300175		
ながみね (指定管理)	飛羽ノ園デイサービスながみね	茨城県土浦市 中村西根	平成 15 年 6 月 1 日	平成 15 年 5 月 29 日	0870300811		
	土浦市ふれあいセンター	2078-1	平成 23 年 4 月 1 日				
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県土浦市 高岡 2315	平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765		
	短期入所生活介護支援事業所		平成 26 年 4 月 1 日 (増床 20 床)				
	デイサービス憩いの里		平成 17 年 9 月 25 日			平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	土浦市在宅介護支援センター		平成 17 年 9 月 25 日			平成 17 年 9 月 25 日	0873900740
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成 19 年 4 月 1 日				
桜川保育園	桜川保育園	茨城県土浦市 田中 3-4-5	令和 2 年 4 月 1 日				

3. 理事会・評議員会開催状況

第1回理事会 令和2年5月25日(月) 書面表決 同意者:理事6名 監事2名	
第1号議案 令和元年度 事業報告(案)	
第2号議案 令和元年度 決算報告(案)	
第3号議案 給与規程の変更について(特定処遇改善加算手当、保育職員等処遇改善加算手当の文言追加)	
第4号議案 定款変更(桜川保育園の敷地面積、建物面積追加)	
第5号議案 令和2年度第1回定時評議員会 決議の省略について	
第2回理事会 令和3年3月16日(火) 書面表決 同意者:理事6名 監事2名	
第1号議案 飛羽ノ園デイサービスながみね、ふれあいセンターながみねの事業の廃止の件	
第2号議案 飛羽ノ園デイサービスながみね、ふれあいセンターながみねの管理者の解任の件	
第3号議案 サポートセンター次長の任命の件	
第4号議案 令和3年度 事業計画(案)	
第5号議案 令和3年度 当初予算(案)	
第6号議案 特別養護老人ホーム憩いの里のバルコニー雨漏り修繕工事の件	
第7号議案 土地(霞ヶ岡町773-1)の賃貸借契約の件	
第8号議案 育児及び介護休業規程の変更の件(育児・介護休業法の改正(令和3年1月1日施行)に伴う変更)	
第9号議案 通勤手当の支給方法の変更に伴う給与規程の変更の件(実際の勤務日数に応じた支給額へ変更)	
第10号議案 定款変更(土浦市ふれあいセンターながみねの削除、田中の土地の合筆)	
第11号議案 令和2年度 第2回評議員会の決議の省略(招集)の件	
報告事項 理事長の職務執行状況報告	
①特別養護老人ホーム憩いの里の受水槽加圧ポンプユニット更新工事の件	
②特別養護老人ホーム憩いの里の空調機器更新工事の件	
③各施設の事業活動等の状況の件	
理事(6名)	
羽鳥 圭一(理事長)	羽鳥 栄子
増山 栄	今高 國夫(産業医・嘱託医)
和田 宏一(特別養護老人ホーム憩いの里 施設長)	河田 輝子(研修室室長)

第1回評議員会(定時評議員会) 令和2年6月9日(火) 書面表決 同意者:評議員8名	
第1号議案 令和元年度 事業報告(案)	
第2号議案 令和元年度 決算報告(案)	
第3号議案 給与規程の変更について(特定処遇改善加算手当、保育職員等処遇改善加算手当の文言追加)	
第4号議案 定款変更(桜川保育園の敷地面積、建物面積追加)	
第2回評議員会 令和3年3月29日(月) 書面表決 同意者:評議員8名	
第1号議案 飛羽ノ園デイサービスながみね、ふれあいセンターながみねの事業の廃止の件	
第2号議案 令和2年度 事業計画(案)	
第3号議案 令和2年度 当初予算(案)	
第4号議案 特別養護老人ホーム憩いの里のバルコニー雨漏り修繕工事の件	
第5号議案 定款変更(土浦市ふれあいセンターながみねの削除、田中の土地の合筆)	
評議員(8名)	
高橋 敏夫	君山 毅
宮崎 三弘(嘱託医)	島田 源
高野 久	竹若 栄吾郎(弁護士)
物江 学(社会保険労務士)	中根 祐一

4. 監事監査の実施状況

令和2年5月15日(金) サポートセンターにて 10:00～	
理事の業務執行状況……適正である	
法人の財産管理状況……適正である	
法人・施設の業務執行状況……適正である	
法人・施設の会計状況……適正である	
監事(2名)	
仲田 秀治	山本 義弘

5. 職員状況

<在籍者数(名)> 令和3年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員	パート職員	合計
サポートセンター	2	1	1	4
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	25	2	11	38
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	7	0	4	11
飛羽ノ園デイサービスセンター	8	0	3	11
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	5	0	0	5
特別養護老人ホーム憩いの里	43	2	9	54
デイサービス憩いの里	7	1	2	10
支援センター憩いの里	2	0	0	2
飛羽ノ園デイサービスながみね	1	0	0	1
土浦市ふれあいセンターながみね	3	0	5	8
桜川保育園	14	4	13	31
合計	117	10	48	175

<入職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	1	0	0	3	1	1	0	1	0	0	0	2	9
憩いの里	3	2	0	1	0	2	1	1	0	1	0	0	11
ながみね ふれあい	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
桜川保育園	24	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	28
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	3	1	6	1	5	1	2	0	1	1	2	52

<退職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	0	1	0	1	1	1	0	1	1	2	0	2	10
憩いの里	2	1	1	0	0	1	1	1	1	1	3	3	15
ながみね ふれあい	0	0	2	1	0	0	0	0	2	3	0	2	10
桜川保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サポートセンター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	2	3	2	1	3	1	2	4	6	3	7	36

<離職率一覧>

施設名	令和元年度	令和2年度	前年度比
飛羽ノ園	16.1%	16.9%	+0.8%
憩いの里	24.3%	22.7%	△1.6%
ながみね・ふれあい	18.2%	43.5%	+25.3%
桜川保育園		0%	
サポートセンター	0%	20.0%	+20.0%

※離職率(%) = 当期間内の退職者数÷当期首の在籍者数×100

<面接回数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	6	12	12	7	3	7	4	3	0	2	6	7	69

※12/17 ハローワークにて法人説明会

<採用詳細>

No	勤務地	職種	雇用形態	所持資格	経験	媒体
1	憩いの里	介護職	正職員	初任者研修	0年9ヶ月	直接
2	飛羽ノ園	看護職	正職員	准看護師	18年2ヶ月	直接
3	ふれあい	事務職	正職員	なし	なし	マイダス
4	憩いの里	介助員	パート	なし	5年7ヶ月	直接
5	ながみね	看護職	パート	正看護師	13年2ヶ月	直接
6	飛羽ノ園	事務職	パート	初任者研修	8年0ヶ月	マイダス
7	飛羽ノ園	介護職	正職員	介護福祉士	4年4ヶ月	直接
8	飛羽ノ園	看護職	正職員	正看護師	19年10ヶ月	直接
9	飛羽ノ園	介助員	パート	ヘルパー2級	あり	ハローワーク
10	桜川保育園	保育士	正職員	保育士	3年0ヶ月	職員紹介
11	飛羽ノ園	介護職	パート	介護福祉士	5年3ヶ月	ジョブオプ
12	桜川保育園	保育士	パート	保育士	16年2ヶ月	ハローワーク
13	桜川保育園	保育補助	パート	なし	なし	理事長紹介
14	憩いの里	介護職	パート	初任者研修	1年1ヶ月	indeed
15	飛羽ノ園	介護職	正職員	介護福祉士	10年5ヶ月	直接
16	桜川保育園	保育補助	パート	なし	なし	理事長紹介
17	憩いの里	介護職	パート	介護福祉士	6年1ヶ月	ジョブメドレー
18	憩いの里	介護職	正職員	介護福祉士	5年7ヶ月	直接
19	憩いの里	介護支援専門員	正職員	介護支援専門員	2年5ヶ月	職員紹介
20	桜川保育園	保育士	正職員	保育士	23年9ヶ月	職員紹介
21	憩いの里	看護職	正職員	正看護師	17年4ヶ月	直接
22	憩いの里	介護職	正職員	初任者研修	なし	indeed
23	飛羽ノ園	介助員	パート	なし	なし	直接
24	桜川保育園	保育士	正職員	保育士	1年0ヶ月	職員紹介
25	憩いの里	介護職	正職員	実務者研修	9年1ヶ月	ホームページ
26	桜川保育園	保育士	パート	保育士	14年0ヶ月	ハローワーク
27	飛羽ノ園	介護職	パート	介護福祉士	19年6ヶ月	ハローワーク
28	飛羽ノ園	介護職	正職員	介護福祉士	11年8ヶ月	ジョブメドレー
29	憩いの里	介護職	正職員	介護福祉士	9年6ヶ月	ホームページ
30	飛羽ノ園	看護職	パート	正看護師	10年10ヶ月	直接
31	飛羽ノ園	介護職	パート	初任者研修	なし	エン転職
32	憩いの里	介護職	正職員	介護福祉士	8年2ヶ月	indeed

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日時・場所	研修名・対象者	担当	参加者(名)
令和2年4月10日(水) 10:00~14:00 研修室	祥風会概要 新人・中途採用者	3拠点管理者 相談員 栄養士 看護師	14
令和2年12月14日(月) 17:00~20:00 ふれあいセンター	第1回スキルアップ研修	ふれあいセンター	1
令和3年3月1日(月) 17:30~20:00 ふれあいセンター	第2回スキルアップ研修	ふれあいセンター	1
令和3年3月29日(月) 17:30~20:00 ふれあいセンター	第3回スキルアップ研修	ふれあいセンター	1
合計			17

②外部研修

年月日	研修名	研修場所	参加者(名)
令和2年11月26日(木)	自社採用ページ&WEB 求人広告作成 ポイント(原稿編)	サポートセンター (リモート)	1
令和3年1月18日(月)	年5日の有給休暇の確実な取得	サポートセンター (リモート)	1
令和3年1月19日(火)	労基署調査への対応実務ポイント	サポートセンター (リモート)	1
令和3年1月20日(水)	同一労働同一賃金の対応留意点に ついて	サポートセンター (リモート)	1
令和3年1月21日(木)	同一労働同一賃金の実務対応	サポートセンター (リモート)	1
合計			5

令和2年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一

室長 河田 輝子

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3521
FAX 029-896-3522
URL <http://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

介護職員初任者研修において、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して第1回目の4月開講は見送り、わずかに安定がみられた6月からの開講となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、受講者にはマスクの着用、入室時の検温と記録、手指消毒の徹底をお願いし、研修会場設備では加湿器や空気清浄機の設置、ソーシャルディスタンスを考慮した机の配置変更を行うと同時に小まめな換気も実施した。その後、第2回目(9月)と第3回目(11月)は計画通り開催することができた。

受講者数では、例年通りの修了生を送り出すことができ、近隣事業所からの受講生が多かった。受講会場の環境や講義内容等に関して受講生自身の満足度も高く、修了時には、キャリアアップを考慮して、実務者研修にも意欲的に取り組みたいとの声もきかれた。

介護福祉士の試験会場が東京都や千葉県などの新型コロナウイルス感染症が拡大している地域ということもあり、本校の実務者研修修了生のうち4名は受験を断念したが、受験することができた今年度の修了生をはじめ、過去の修了生から合格の連絡がきた。不合格となった修了生には、今後も継続した支援が必要であると考えます。

2. 内容

(1) 介護職員初任者研修

① 実施期間

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第1回	6月4日～8月27日	15	13
第2回	9月3日～12月10日	13	13
第3回	11月7日～2月27日	9	8
合計		37	34

※法人内受講生3名含む

② 施設実習・見学会 コロナ禍で中止

施設名	実習：第1回(名)	実習：第2回(名)	実習：第3回(名)	見学会(名)
飛羽ノ園	0	0	0	0
憩いの里	0	0	0	0
ながみね	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

③ 年代別受講者数(名)

世代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
第1回	1	5	1※	4	3	1	0
第2回	0	0	6	5	2	0	0
第3回	0	3	1※	2	2	1	0

小計	1	8	8	11	7	2	0
合計				37名 (※同一受講者)			

(2) 実務者研修

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第1回	6月9日～12月8日	13	13
合計		13	13

② 年代別受講者数 (名)

世代	20代	30代	40代	50代	60代
第1回	3	4	2	3	1
合計	13				

令和2年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一
施設長 椎名 早苗

〒300-0823 土浦市小松3-18-18
TEL 029-826-2941
FAX 029-826-2946
URL <http://showfukai.com>
E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護福祉施設

今年度は「入居者のための視点を持ち、寄り添った介護を」という目標達成に向けて稼働した。従来・とわ共にその人らしい生活を意識して日頃の業務に取り組めた事で個々のニーズに合わせたサービスの提供が出来た。また、その中で日頃の業務を多職種で連携して見直し・改善に繋げることが出来た。しかし、事業計画にあげた家族との時間を大切にするという目標については新型コロナウイルス感染症予防対策の為、本来であれば家族に参加して頂く行事も施設内のみの実施となってしまった。面会も窓越しやオンラインで実施し、行事の写真を送るなどの対応を図ったが、それでもお互いに会いたい気持ちや物足りないという思いを抱いている入居者や家族もいらっしまったと思う。来年度は新型コロナウイルス感染症の動向を確認しつつ入居者、家族のニーズ把握に努めてどうすれば実現できるかを模索しながら行っていく事が必要である。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

今年度、稼働率は90.7%となった。内外部居宅介護支援事業所と連携を図り、家族のニーズや介護方法の情報提供を継続して行なうことが出来た。しかし利用調整については、新規相談ケースでは長期入居の希望者が増えたこと、長期入居者では入院などがあり、定期入居とのバランス調整をスムーズに行なう事が出来なかった。来年度はその時のニーズに合わせて長期入居者の数を増やすなど柔軟に対応していく必要がある。

3. 稼働率報告

種 別	従来		ユニット		ショートステイ	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
年間ベッド数（最大）	18,300	18,250	7,320	7,300	3,660	3,650
利用延べ人数	18,296	18,221	7,265	7,150	3,460	3,311
稼働率（%）	99.9	99.8	99.2	97.9	94.5	90.7

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

（1）入退居者数

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	2	0	2	0
5	1	1	1	2
6	1	1	1	0
7	0	1	0	1
8	0	0	0	1
9	1	1	1	0
10	3	1	3	1
11	1	1	2	1
12	2	1	1	1
1	2	1	2	1
2	0	2	1	2
3	1	0	0	0
合計数	14	10	14	10
前年度合計数	9	4	9	4

（2）入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	10	8	永眠	10	6
病院	0	0	病院	4	3
老健	3	0	老健	0	0
有料老人ホーム	0	2	居宅	0	0
特養	1	0	特養	0	1
計	14	10	計	14	10
前年度計	9	4	前年度計	9	4

（3）要介護度別 ※令和元年3月31日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	2	0	1	0	3	0	4	0
2	2	0	4	3	6	3	4	1
3	4	1	8	5	12	6	16	7
4	4	0	18	6	22	6	19	9
5	2	0	5	5	7	5	7	3
合計	14	1	36	19	50	20	50	20
平均要介護度	3.1	3.0	3.6	3.7	3.5	3.7	3.4	3.7

(4) 年齢構成 ※令和元年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	0	0	1	2	2	7	2	14
	女性	0	0	1	1	9	9	16	36
とわ	男性	0	0	0	1	0	0	0	1
	女性	0	0	1	2	1	4	11	19
合計		0	0	3	6	12	20	29	70
前年度		0	1	3	5	10	23	28	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	3	5	17	17	10	52
	延人数	90	150	453	507	300	1,500
5	実人数	2	6	17	16	10	51
	延人数	62	186	511	481	310	1,550
6	実人数	2	6	18	15	10	51
	延人数	60	180	527	450	283	1,500
7	実人数	2	6	18	15	9	50
	延人数	62	186	558	465	279	1,550
8	実人数	2	5	18	16	10	51
	延人数	62	155	558	467	308	1,550
9	実人数	2	8	19	15	10	54
	延人数	60	150	533	450	300	1,493
10	実人数	3	5	19	17	9	53
	延人数	88	155	575	491	235	1,544
11	実人数	3	5	20	21	8	57
	延人数	90	123	484	565	237	1,499
12	実人数	3	3	17	20	8	51
	延人数	93	93	527	589	240	1,542
1	実人数	3	4	17	20	8	52
	延人数	93	100	518	609	226	1,546
2	実人数	3	5	15	20	7	50
	延人数	84	140	417	560	196	1,397
3	実人数	3	6	12	22	7	50
	延人数	93	186	372	682	217	1,550
令和2年度	実人数	31	64	207	214	106	622
	延人数	937	1,804	6,033	6,316	3,131	18,221
令和元年度	実人数	46	48	228	215	72	609
	延人数	1,379	1,464	6,860	6,443	2,150	18,296

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	0	1	7	9	3	20
	延人数	0	30	196	270	90	586
5	実人数	0	1	7	10	3	21
	延人数	0	31	202	268	93	594
6	実人数	0	1	7	8	4	20
	延人数	0	30	210	240	112	592
7	実人数	0	1	8	8	4	21
	延人数	0	31	215	221	124	591
8	実人数	0	3(2)	8	7	4	22
	延人数	0	38(7)	218	217	124	597
9	実人数	0	1	8	6	5	20
	延人数	0	30	140	180	134	484
10	実人数	0	1	9	6	5	21
	延人数	0	31	147	186	155	519
11	実人数	0	1	8	7	5	21
	延人数	0	30	228	189	124	571
12	実人数	0	1	8	8	4	21
	延人数	0	31	248	213	124	616
1	実人数	0	2	8	7	4	21
	延人数	0	53	226	217	124	620
2	実人数	0	4	6	8	4	22
	延人数	0	84	168	196	112	560
3	実人数	0	4	6	6	5	21
	延人数	0	103	186	176	155	620
令和2年 度	実人数	0	21	90	90	50	251
	延人数	0	522	2,384	2,573	1,471	6,950
令和元年 度	実人数	9	9	126	69	30	243
	延人数	275	274	3,781	2,043	898	7,271

()…空床利用者

《考察》

今年度は長年利用されていた方などの退居が多かった。また、1年を通して従来型、ユニット型とわ各部署で退居が続いた。新規の入居者の実態調査や長期のショートステイ入居者のニーズや緊急性を判断して多職種連携しスムーズなベッドコントロールが出来た。しかし入院に関しては今年度は長期入院や入院して戻れなく退居という事が何件もあり、退居時期の判断が遅れてしまった。

来年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き家族や居宅介護支援事業所も病院の面会がままならず本人の状態を把握しにくいと予測されるが病院のソーシャルワーカーと連携を図りつつ、家族や居宅介護支援事業所と必要なニーズ把握に努めて、ベッドコントロールの準備をしていくことが重要だと感じた。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	0	4	3	8	1	0	16
	延人数	0	0	49	38	170	14	0	271
5	実人数	0	0	3	4	6	3	0	16
	延人数	0	0	36	64	132	37	0	269
6	実人数	0	0	4	2	4	4	0	14
	延人数	0	0	63	41	90	70	0	264
7	実人数	0	1	3	2	3	4	0	13
	延人数	0	6	50	43	77	103	0	279
8	実人数	0	1	3	4	4	4	0	16
	延人数	0	5	48	67	69	116	0	305
9	実人数	0	1	4	4	3	4	0	16
	延人数	0	6	36	62	77	111	0	292
10	実人数	0	1	2	6	3	5	0	17
	延人数	0	8	23	85	79	109	0	304
11	実人数	0	1	2	5	3	5	0	16
	延人数	0	3	26	82	44	110	0	265
12	実人数	0	0	0	10	1	4	2	17
	延人数	0	0	0	153	17	84	8	262
1	実人数	0	0	1	7	3	3	1	15
	延人数	0	0	2	111	44	62	31	250
2	実人数	0	0	1	7	2	5	1	16
	延人数	0	0	10	100	44	81	28	263
3	実人数	0	0	1	4	2	4	2	13
	延人数	0	0	17	67	49	96	58	287
令和2年度	実人数	0	5	28	58	42	46	6	185
	延人数	0	28	360	913	892	993	125	3,311
令和元年度	実人数	0	7	24	64	92	34	8	229
	延人数	0	28	207	1,007	1,546	657	15	3,460

《考察》

前年度に続き長期利用の問い合わせが多く、内外部居宅介護支援事業所とニーズを把握しバランス良く受け入れた。一方、短期での利用の問い合わせは減少傾向にあるものの、飛羽ノ園デイサービスを利用されている方が併用し利用されるケースが多く見られていた。定期的利用に加え、在宅での状況で追加利用するなどケアマネジャーと連携し柔軟に対応することが出来た。

短期での利用と長期での利用のバランスを地域でのニーズに合わせ検討していきたいと考えている。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（従来型）

【3】重点目標：権利擁護の視点を持ち、寄り添った介護を

〔計画内容〕

（1）利用者目線・気持ちへの配慮を忘れない

入居者と関わる時間が少なく状態等により個別に対応が出来ていないことが多かった。

今後は入居者との時間を大切に行事や甘味などでも個々のニーズを確認しながらイベントを考えていきたい。

（2）職員の知識・技術の向上

新型コロナウイルス感染症の影響もあり研修への参加が難しかった。来年度はオンライン等を利用し外部への研修に参加する。また、勉強会の充実を図っていく。

（3）報告・連絡・相談体制の強化

事故・ヒヤリハットの報告が上手く全体に伝わっていないことが度々みられていた。報告書の提出体制の見直しを行ないその日のうちに他職種にも伝わる体制作りをしていく。

《考察》

研修参加や開催が断たれた状態が続き介護力にばらつきが出来てしまった為、統一したケアの確立が難しかった。来年度は介護力の向上を目標とし統一されたケアを目指したい。

2. 医務

（1）長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢（歳）	性別	点 数							合計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	0	1
75～79	男	1	0	1	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
80～84	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	2	4	0	1	0	1	0	8
85～89	男	0	4	1	0	2	0	0	7
	女	6	3	0	2	1	0	0	12
90～94	男	0	1	0	1	0	1	0	3
	女	1	3	4	2	0	0	0	10
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	2	0	0	0	0	0	4
計		14	18	6	6	4	2	0	50

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和 3 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	35	9	5	11	25	14	0	35	15	5	30	15
前年度	32	9	8	8	22	20	4	26	20	5	21	24
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	20	14	16	11	27	12	9	3	6	14	18	
前年度	18	13	19	23	17	10	9	3	13	12	13	

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	120	143	142	191	186	214	208	212	236	242	168	155	2,217
処置	101	174	194	163	158	165	123	196	196	187	203	254	2,114
軟膏・湿布	131	187	219	215	185	207	192	214	212	192	174	341	2,469
テープ	77	89	55	45	44	43	46	48	51	48	37	37	620
救急対応	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6
看取り	0	1	1	0	0	1	3	2	1	2	1	1	13

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	0	15	9	1	16	0		348
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来		
延人数(名)	2	0	290	4	1	2		
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科	麻酔科				
延人数(名)	4	0	3	1				

(5) 入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	171	165	160	167	177	154	147	137	139	109	108	135	1,769
一般浴	259	255	269	281	243	259	282	322	303	281	249	297	3,300
合 計	430	420	429	448	420	413	429	459	442	390	357	432	5,069

②短期入所生活介護 (予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	74	84	90	101	76	96	105	91	86	98	76	97	1,074

《考察》

前年度に比べ利用者の入れ替えなどもあり、ADLは少しだが向上傾向にみられる。しかしそれに伴い、転倒・転落・ヒヤリハットの報告も昨年に比べて増加傾向がみられる為、多職種連携をさらに強化し、職員の知識の向上・介護技術のスキルアップを図ると共に利用者の状態に合わせて業務の見直しも検討していく。

3. 給食

(1) 令和2年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,449	52.1	33.1	55.3	6.3	0.94	1.12	100	6.7
4月	1,671	63.4	37.7	592	11.1	0.95	1.01	125	8.2
5月	1,692	62.5	38.1	583	11.0	0.89	1.05	122	8.5
6月	1,671	63.6	39.2	598	11.0	0.95	1.05	131	8.5
7月	1,693	62.8	39.7	612	11.5	1.08	1.05	135	8.1
8月	1,680	62.6	40.5	618	11.4	0.99	1.04	140	7.9
9月	1,695	63.4	41.2	597	11.2	0.93	1.05	135	7.8
10月	1,674	62.7	40.9	628	11.9	1.00	1.08	140	7.7
11月	1,654	61.2	41.1	590	11.4	0.93	1.02	125	7.9
12月	1,663	64.2	39.8	601	10.7	0.88	1.05	123	7.8
1月	1,675	64.1	40.4	630	11.2	0.95	1.03	116	7.7
2月	1,663	64.3	42.0	610	10.9	0.90	1.04	119	7.5
3月	1,673	65.1	40.6	619	11.3	0.90	1.04	123	8.0

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,699	17,209	17,675	52,583
ユニットとわ	7,083	7,029	7,086	21,198
ショートステイ	3,014	3,251	3,024	9,289
デイサービス	0	5,467	0	5,467
職員	365	2,379	365	3,109
来客	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0
延人数(名)	28,161	35,335	28,150	91,646

②選択食

日時	A	B
4月27日	ミートローフ	コロッケ
5月16日	鮭のムニエル	照り焼きチキン
6月25日	カツ玉煮	はんぺんフライ
7月24日	えび玉	家常豆腐
8月25日	麻婆茄子	鯖の味噌煮
9月23日	鶏肉のマヨネーズ焼き	白身魚のトマトソースかけ
10月19日	白身魚のバター醤油焼き	親子煮
11月21日	チキンカツ	鯖の生姜煮
12月17日	鮭のオニオンソース	鶏肉のトマト煮
1月22日	赤魚のみぞれ煮	豚肉の治部煮
2月23日	煮込みハンバーグ	鮭のムニエル

3月24日	メンチカツ	白身魚の菜種焼き
-------	-------	----------

③行事食（従来型）

1	日 時	4月17日	行事名	4月イベント食
	菜の花ごはん、白身魚の葱塩あんかけ、うどのたまり漬け、フルーツ、清汁			
2	日 時	5月5日	行事名	こどもの日（5月イベント食）
	新生姜ごはん、かつおのたたき、じゃが芋まんじゅうそばろあんかけ、フルーツ、清汁			
3	日 時	6月18日	行事名	6月イベント食
	梅ごはん、鮎の甘露煮、もずくのさっぱり和え、フルーツ、清汁			
4	日 時	7月7日	行事名	七夕そうめん
	そうめん、天ぷら盛り合わせ、冬瓜と海老の葛煮風、フルーツゼリー			
5	日 時	8月12日	行事名	8月イベント食
	ちらし寿司、湯葉の信田巻き夏野菜添え、じゅんさいのわさび和え、フルーツ、冬瓜のごま味噌汁			
6	日 時	9月12日	行事名	9月イベント食
	栗赤飯、魚のゆかり天ぷら、菊花の三杯酢、フルーツ、お月様汁			
7	日 時	8月5日	行事名	納涼祭
	やきそば、お好み焼き、ナゲット、フライドポテト、グラタン、漬物、フルーツ、かき氷、ジュース			
8	日 時	9月20日	行事名	敬老会
	海鮮丼、野菜天、炊き合わせ、キャラメルプリン、清汁			
9	日 時	10月17日	行事名	10月イベント食
	松茸ごはん、秋鮭と秋野菜の吹き寄せ、反禅和え、フルーツ、芋煮汁			
10	日 時	11月16日	行事名	11月イベント食
	鮭ちらし寿司、天ぷら盛り合わせ、柚びたし、さつま芋ようかん、きのこ汁			
11	日 時	12月20日	行事名	クリスマス会
	バラちらし寿司、おすいもの、チキン、フライドポテト			
12	日 時	12月25日	行事名	12月イベント食
	エビピラフ、タンドリーチキン、ブロッコリーのサラダ、フルーツ、南瓜のポタージュ			
13	日 時	12月31日	行事名	年越しそば
	なめこおろしそば、天ぷら盛り合わせ、酢味噌かけ、ゼリー			
14	日 時	1月1日	行事名	元旦式
	彩りちらし寿司、炊き合わせ、おせち、清汁			
15	日 時	2月3日	行事名	節分（2月イベント食）
	ちらし寿司、いわしのつみれ汁、菜の花の辛子和え、フルーツ			
16	日 時	3月3日	行事名	雛祭り（3月イベント食）
	にぎり寿司、含め煮、ミルクプリン桃ソース、けんちん汁			

④甘味処

日 時	おやつ名
5月9日	大判焼き
6月13日	パンケーキ
7月11日	すいか割り
9月12日	クレープ

10月17日	スイートポテト
11月21日	おはぎ
12月12日	スナック菓子
1月20日	おしるこ
2月3日	ロールケーキ
3月17日	和菓子

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	12	10	7	3	4	41	7	3	10	3	35	8	143

(4) 会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

《考察》

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、旅行、納涼祭、敬老祝賀会、クリスマス会など家族参加の行事や外出行事もほとんどできなかった。そこで、職員で工夫した、入居者の楽しめる食事の提供、お弁当や甘味処などを行ない笑顔が見られていた。

食事介助が必要な入居者や、栄養状態の悪い入居者も多くなったことから、その都度看護師、介護士、栄養士で話し合いの場を持ち、食形態の変更を行なった。また、嘱託医と相談し、エンシュア、栄養補助食品の提供をし、状態改善を図ることができた。最後まで口から食べられ、食べる楽しみを持てるように取り組むことが出来た。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	9	4	9	8	11	10	10	5	8	11	10	12	107
SS(名)	11	14	15	15	13	10	13	14	15	15	19	16	170

※開催合計 入居 26回 SS 64回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	0	6	3	5	5	3	1	0	5	6	2	2	38

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所基準検討委員会	新型コロナウイルス感染症対策のために開催できないことがあり、書類提出を行い高齢福祉課、民生委員、施設内での連携に努めた。また、タイムリーに入所できるよう入所リストの見直しを進めた。
2	身体拘束廃止委員会	今年度は身体拘束ゼロで対応する事ができた。引き続き継続し必要とされる状態でも他職種と連携して実施しない対応策を検討していく。
3	感染症対策委員会	今期は早い段階で新型コロナウイルス感染症対策で職員一人一人が手指消毒ボトルを使用し一作業に一消毒ができたため、ノロウイルス対策にも繋がり良かったと思う。 皮膚感染症対策はこの冬乾燥が強く利用者様の皮膚の保湿が足りなかったので今後もバリア機能を高めるために清潔保湿に努めていく。
4	災害防火委員会	新型コロナウイルス感染症の影響により外部を交えての総合防火避難訓練は行えなかったが定期避難訓練では、点呼・タイムキーパー・誘導等も声掛けしてそれぞれが役割分担出来た。
5	介護力向上委員会	排泄や入浴方法など職員間で指導し合い適切に出来ていた。今後も継続し、安全・安心に生活が出来るよう対処していきたい。 勉強会が新型コロナウイルス感染症予防対策のため、実施出来なかったことがあったので、来年度は対策を考え実施できるように計画していきたい。
6	寄添う看取り委員会	全体で検討する機会を作れず見直しが出来なかった。 医務とは連携して看取り対応や状態など共有できた。
7	褥瘡予防委員会	体交クッションや座布団を購入。また、PT と看護の指導により以前より知識が広がった。全職員への共有が上手くできなかった事が来年度の課題。
8	胃ろう・吸引対策委員会	物品の把握などの周知が出来ていなかった。 緊急時にすぐ対応ができるように職員へ働きかける。
9	営繕委員会	毎月の物品在庫管理は年間を通して抜けや漏れなく行なう事が出来た。備品の職員周知に関しては具体的な取り組みを行なう事が出来なかった。修理等出来る職員を増やすという点においては一部職員のみで大きな成果はあげられなかった。
10	広報委員会	行事では入居者の写真を撮る機会があったが、日常生活での風景を写真に残すことが出来ていなかったため、来年度は行事だけでなく生活風景も写真に残し、家族に多く情報を提供し、安心して頂けるよう対応していく。
11	レクリエーション委員会	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり外出行事が少なかった。また、入居者様が楽しめる施設内行事も十分に増やすことが出来なかった。 来年度は施設内でも楽しんで頂けるような行事を増やしていきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
8	5	夏祭り	59	33	0	92
9	16	外出ドライブ	1	1	0	2
9	20	敬老会	80	31	0	111
11	25	運動会	57	16	0	73
12	20	クリスマス会	59	24	0	83
1	1	元日式	77	25	0	102
2	3	節分	59	12	0	71
3	27	花見散歩	6	4	0	10
3	31	花見散歩	2	2	0	4

《考察》

新型コロナウイルス感染症予防対策の為に、家族参加の行事が出来なかった。そのような中でも、入居者に楽しんでいただき、家族には安心して頂けるよう、行事風景の写真を送るといった新たな試みを行い大変喜んで頂く事が出来た。

来年度も感染症対策は継続することが想定される。行事の行い方について、形を変えチャレンジする大切さを学んだ。

6. ユニット費

①従来型

月平均額	年間累計
¥8,466	¥101,591

- ・今年度は日用品の購入が多かった。また、使用の基準が分かりにくかった。
- ・イベントでは季節に応じて飾りを購入し雰囲気作りに努めることが出来た。
- ・日常の生活の場での飾り付けにユニット費の活用が出来なかった。

7. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

月	日	内容（対象者）	参加人数
9	10	新型コロナウイルス感染症対策（特養、デイ、居宅）	28名
10	13	高齢者権利擁護（特養、デイ、居宅、サポートセンター）	41名

②部署内研修

7	10	褥瘡について（特養）	19名
---	----	------------	-----

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
新型コロナウイルス感染症研修会	令和2年 7月22日	施設長 生活相談員 看護職員	新型コロナウイルス感染症発生予防策と発生時における対応	2名
レクリエーション基礎研修	令和2年 11月13日	介護職員	レクリエーションの基礎と質の向上	2名
介護ロボット茨城フォーラム	令和2年 11月30日	施設長 生活相談員 介護職員	介護ロボット普及促進のための取り組みについて	4名
認知症介護実践者研修	令和2年 11月10日	介護職員	認知症の定義と原因疾患 基礎となる理念や考え方 認知症の人とのコミュニケーション	1名
褥瘡対策研修会（オンライン）	令和3年 2月4日	介護職員	ポジショニングによる対策	3名
介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事務局主催研修	令和3年 2月3日	施設長 生活相談員	介護ロボットに期待されるメリットと効果的な導入・活用のアプローチ	3名
モチベーションアップ研修	令和3年 3月5日	施設長 生活相談員	自分自身の心のバリアを解き放つ	3名
認知症疾患医療センター研修会	令和3年 3月26日	介護職員	地域における認知症疾患の保健医療水準の向上	2名
合計			8回	20名

(3) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

今年度は感染症対策の為、研究会の開催がされなかった。

来年度、開催又はオンライン研修などが実施された際は、なるべく多くの職員に参加してもらい知見を広げてもらう。また、参加できなかった職員に対しても情報共有を図り、全職員で新たな情報を得る事で刺激を受けより良い施設運営に繋げる。

《考察》

今年度は多くの研修が新型コロナウイルス感染症予防対策で開催数が減少したり、人数を制限といった事が多くみられた。しかしそんな中で徐々にオンラインといった新たな研修の形が確立され、施設内で研修への参加が可能になった。今までは研修とは目的地へ行く時間も含めて1日は業務を抜けなくては参加出来なかったが、自施設で参加できる環境を整えた為、研修の時間だけ業務を抜けられるというオンラインの利点を活かして少しでも多くの職員にスキルアップの機会を提供することでケアの質の向上に繋げていく。

8. 実習生受入れ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受け入れは中止した。

9. ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受け入れは中止した。

10. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

【開催実績】○定期開催・・・毎月第一日曜日 9：00～12：00

○イベント開催・・・年間2回 “地域支え合い勉強会”

・ 6月 : 第1回 未実施 (コロナ対策の為)

・ 12月 : 第2回 未実施 (コロナ対策の為)

《考察》

今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の為、一度も開催する事が出来なかった。来年度は地域のニーズ把握に努めると共に感染対策を視野に入れながら安心・安全に開催できる方法を検討しながら行いたい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（とわ）

【1】 重点目標：入居者の暮らしを第一に考え、楽しみが増えるよう

個人の在り方を尊重した生活を提供する

〔計画内容〕

(1) 他職種連携を意識した介護の提供

ユニットの職員だけでなく看護職員や管理栄養士と協力しながらイベントを開催したり日々のケアに取り組んだりすることができた。来年度も継続して入居者が生活を送るうえで不便のないようにしていきたい。

(2) 趣味活動の充実

新型コロナウイルス感染症予防対策の為、外出行事であったり家族との交流が出来なかった。個人の活動もうまくいかないこともあり、来年度の課題となっている。来年度は新型コロナウイルス感染症予防策にしっかり取り組みながら趣味活動を行えるようにしていきたい。

(3) 24時間シート、介護過程に即した介護・支援の提供

ワイズマンを活用して24時間シート作成は行っているがなかなかタイムリーな更新を行うことが出来なかった。介護の統一はユニット会議やユニットノートを活用することである程度のレベルで出来ていた。

《考察》

新型コロナウイルス感染症予防対策の影響もあり個人の楽しみを考えた活動を行うことが出来なかった。職員の不足もあり最低限のケアを行うだけになっている時期があった。後半になると職員不足も解消し徐々に通例のイベント食を再開することが出来た。目標の一部分は達成できたと思うが全体的にみて入居者個々への関り等が達成できていないので来年度の課題としたい。

1. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢	性別	点 数							計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
75～79	男	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	1	0	0	0	2
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
85～89	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0	1	1	1	1	0	6

90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	4	1	1	1	0	0	7
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	0	1	0	0	3
計		4	6	2	3	4	1	0	20

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和 3 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	13	6	1	4	6	10	0	11	9	5	13	2
前年度	16	3	1	3	14	3	0	15	5	4	12	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)		移 動 (車 い す)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	7	9	4	10	8	2	6	0	5	0	9	
前年度	7	9	4	11	7	2	4	1	7	2	6	

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	30	31	41	31	55	60	48	101	93	93	84	93	760
処置	29	33	62	45	47	37	66	53	70	76	79	64	661
軟膏・湿布	25	11	49	55	47	60	65	62	69	74	77	125	719
テープ	90	77	90	99	62	74	93	89	86	62	41	31	894
救急対応	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
看取り	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	7

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計
延人数	0	7	8	0	13	0	458
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	婦人科	耳鼻科	
延人数	0	7	422	0	0	0	
受診科名	形成外科	耳鼻咽喉科	消化器内科	麻酔科			
延人数	0	0	1	0			

(5) 入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	76	74	71	76	63	68	89	68	77	77	80	84	903
わかくさ	73	64	70	58	70	77	76	81	73	72	75	88	877
合 計	149	138	141	134	133	145	165	149	150	149	155	172	1,780

《考察》

ADL については、新規入居者や入居してから 3 年以上の入居者の低下がみられ全体的な介助量が増加傾向にある。そんな中でも本人の能力を生かして維持していく。入浴については、昨年同様に体調不良等で回数に変動はあるが、入浴日を変更したり、入浴できない場合はベッドバスや着替え等を行ない清潔保持に努めている。今後も継続して行っていく。

2. 給食

(1) 食事提供状況

①行事食 (ユニット・とわ)

1	日 時	6月16日	行事食	6月イベント食
	おにぎり、サンドイッチ、グラタン、からあげ			
2	日 時	10月14日	行事名	わかくさ行事食
	チャーハン、餃子、春雨サラダ、みそ汁			
3	日 時	10月22日	行事名	むべ行事食
	オムライス、人参明太マヨ、手羽中煮、コーンスープ、フルーツ			
4	日 時	11月25日	行事食	合同行事食
	けんちんうどん or カレーうどん、ポテトサラダ、フルーツ			
5	日 時	2月10日	行事食	わかくさ行事食
	きりたんぼ鍋			
6	日 時	3月10日	行事食	わかくさ行事食
	テイクアウトカレー、ポテトサラダ、コンソメスープ、フルーツ			
7	日 時	3月24日	行事食	むべ行事食
	海鮮やきそば、餃子、わかめスープ、フルーツ			

②甘味処 (ユニット・とわ)

日 時	おやつ名
5月10日	プリンアラモード

(2) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	2	5	5	4	1	5	9	2	4	7	6	5	55

※開催回数 22回

《考察》

入居者の入れ替わりも多く、また、状態の変化や嚥下の低下の為に介助が必要になる入居者の増加が見られた。看護職員、介護職員、栄養士で話し合い、本人の嗜好に添った食事やおやつを用意した。嘱託医への相談も行ない、栄養補助食品の提供も出来た。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	4	1	8	3	3	5	1	1	7	4	4	5	46

※開催合計 12回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	1	1	2	1	1	0	0	2	1	1	0	10

4. 委員会

(1) 委員会活動報告（以下はとわのみの委員会）

5	物品購入委員会（とわ）	発注期日をしっかりと守り、適正な発注ができた。今後は入居者 1 人 1 人に合わせたオムツやパット類の確認を行いそれに準じたものを使用できるようにしていきたい。また節約を心掛け無駄な発注を減らしていきたい。
15	運営推進委員会（とわ）	新型コロナウイルス感染症予防対策もあり今年度は開催自体が出来なかった。来年度はリモートなどを駆使して開催しユニットケアの充実を図っていきたい。
16	リハビリ委員会（とわ）	新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で理学療法士の来園が少なく積極的に行なうことが出来なかった。来年度は入居者の入れ替えもあったので 1 人 1 人の状態を看護職員、理学療法士と連携し状態把握に努め、リハビリを行っていけるようにしたい。
17	とわ菜園委員会（とわ）	今年度は年度初めにしか栽培を行うことが出来なかった。現在来年度に向けて庭の整備を行っており、畑の拡張や花壇なども充実させ入居者も参加できるようにしていきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
8	5	夏祭り	20	12	0	32
12	20	クリスマス会	20	12	0	32
1	13	イルミネーションドライブ	3	3	0	6
3	25	花見散策・ドライブ	1	1	0	2
3	27	花見散策・ドライブ	3	1	0	4

《考察》

新型コロナウイルス感染症予防対策の為に、家族参加の行事が出来なかった。そんな中でも、施設内でいかに入居者に楽しんでいただけるかの方法を模索して開催し、家族には安心して頂けるよう、行事風景の写真を送るといった新たな試みを行い大変喜んで頂く事が出来た。

来年度も感染症対策は継続することが想定される。行事の実施の仕方について、形を変えチャレンジする大切さを学んだ。

5. ユニット費

①わかくさ

月平均額	年間累計
¥12,211	¥146,532

- ・日用品や雑貨を主に購入した。
- ・ユニット費で購入するものか悩んでしまう。

- ・用途が日用品か消耗品に使う事が多く、レクリエーション用品への使用が少なかった。

②むべ

月平均額	年間累計
¥11,885	¥142,625

- ・日用品や消耗品を主に購入した。
- ・ユニット費での購入に判断が迷う事が多かった。
- ・消費期限のある必要物品の管理が難しかった。
- ・買い物回数が多かった。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
 指定通所介護・介護予防通所介護事業
 土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
 (通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

今年度も利用者参加型の取り組み「みんなのありがとう」の掲示板を実施した。利用者同士の交流を円滑に行えるような対応を心掛けた結果、利用者一人一人の交流が広がり、ありがとうの言葉が飛び交う状況を見ることができた。また、残存機能を活かした対応を職員同士で検討・共有し介護技術の向上に努め、更に利用者の活動の可能性を考察し、一人一人が自立に向けて最大限の力を発揮できるような関わり方も継続して検討・共有していくこととなった。

前年度に引き続き、介護支援専門員と連携強化のために毎月1回の定期報告を継続し、状況変化があった際も、その都度報告をした。また、送迎時には家族とのコミュニケーションを密に行い、地域住民へも挨拶や声掛けを行い、地域で必要とされるデイサービスとなる事が出来るよう努めることが出来た。

2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310
実人数(名)		54	55	56	51	50	51	56	53	52	51	51	46	626
延人数(名)		454	469	492	453	422	443	528	517	494	458	448	476	5,654
令和 元年度	平均利用者数(名)	17.4	18.5	18.4	18.2	19.0	17.3	18.0	18.5	19.2	18.2	17.2	16.9	18.1
	稼働率(%)	69.6	74.0	73.6	72.8	76.0	69.2	72.0	74.0	76.8	72.8	68.8	67.6	72.3
令和 2年度	平均利用者数(名)	17.5	18.0	18.9	16.8	16.2	17.0	19.6	20.7	19.0	19.1	18.7	17.6	18.3
	稼働率(%)	69.8	72.2	75.7	67.1	64.9	68.2	78.2	82.7	76.0	76.3	74.7	70.5	73.0
稼働率(%) 前年度比		+0.2	△1.8	+2.1	△5.7	△11.1	△1.0	+6.2	+8.7	△0.8	+3.5	+5.9	+2.9	+0.7

(2) 年間利用状況の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延利用者数(名)	5,376	6,140	5,928	5,499	4,874
稼働率(%)	69.2	79.6	77.6	71.2	62.8
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数(名)	5,180	5,681	5,715	5,580	5,654
稼働率(%)	66.8	73.6	74.4	72.4	73.0

(3) 介護度別利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用休止する方も見受けられた。要支援の利用の方が要介護に、また1年以上利用が続いている利用者の介護度の上昇もあり、支援1・2介護度1の割合が減り、介護度2・4・5の方の割合が増えた。

要介護度	令和元年度		令和2年度		前年度比	
	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)
事業対象者	143	2.6	107	1.9	△36	△0.7
支1	226	4.0	209	3.7	△17	△0.3
支2	706	12.7	323	5.7	△383	△7.0
1	2,425	43.5	2,025	35.8	△400	△7.7
2	1,112	19.9	1,717	30.3	+605	+10.4
3	627	11.2	507	9.0	△120	△2.2
4	33	0.6	315	5.6	+282	+5.0
5	308	5.5	451	8.0	+143	+2.5
介護保険外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	5,580	100	5,654	100	+74	—

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組み

利用者参加型のデイサービスの展開をを心がけることで、利用者が主体となるデイサービスのあり方を、職員一人一人が考え、意見を発し生活支援の質の向上を目指した。利用者の残存機能を活かした対応を継続して検討、実施することが出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

毎月、各ケアマネジャーに利用者の状況報告を行いつつ、居宅でのケアプランに沿った通所介護計画の作成に努めた。状況報告の中で利用者の変化が見られた際には、照会を通してケアマネジャーや家族と連携を図りプランの立案や変更を行った。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

看護職員・介護職員で連携しその日の健康チェックを実施した。利用者の意向やその日の体調、気分に応じ柔軟に介助方法や浴槽を選択し支援を行う事が出来た。平均介護度の上昇に比例して入浴数の上昇が見られているのは、在宅での入浴実施が困難で入浴サービスの利用が増えたためと考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数(名)	454	469	492	453	422	443	528	517	494	458	448	476	5,654	
入浴延人数(名)	338	359	396	371	334	356	435	412	380	369	342	366	4,458	
入浴率 (%)	令和元年度	50.3	67.9	64.9	65.7	66.5	70.3	71.3	72.7	74.7	72.9	75.1	72.6	68.7
	令和2年度	74.4	76.5	80.5	81.9	79.1	80.4	82.4	79.7	76.9	80.6	76.3	76.9	78.8
前年度比(%)	+24.1	+8.6	+15.6	+16.2	+12.6	+10.1	+11.1	+7.0	+2.2	+7.7	+1.2	+4.3	+10.1	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個浴	19	19	14	16	13	0	1	0	0	0	0	0	82
リフト付き浴槽	3	2	1	2	0	9	9	0	0	0	0	0	26

(4) 食事サービス

本人や家族、ケアマネジャーと情報共有し、本人の状態や嗜好に合わせた食事提供を行った。また、体重や食事量が継続して減少した利用者には、食事形態の見直し、自宅から栄養補給ゼリーを持参してもらうなどの協力を得て健康状態の保持に努めた。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者個々の状態に合わせた排泄介助を行った。定時の誘導だけでは足りず、適宜トイレ誘導を必要とする利用者が増え、排泄の間隔も様々で家族からパットの使用量等の苦情も発生したため、排泄表を作成。職員と家族で排泄状況を共有しケアの向上と信頼関係の構築に努めた。

(6) レクリエーション・行事

新型コロナ感染症予防の為、大勢が触れることになるゲームを避け、ホワイトボードを使用し、脳トレ系のレクリエーションを主に行った。外出も少人数で花見等は車窓から楽しみ、調理は避け、夏祭りや忘年会もネーミングに悩まされた。反対に脳トレ系のバリエーションの広がりや、手芸系レクも増えた。年末お楽しみ会は、初めてノンアルコールを導入。パーティーション越しに会話が弾み、新しい楽しみの発見もあった。

【レクリエーション実施状況（回数）】

飾り作り	35	ボーリング	8	ちょんちょんゲーム	8
言葉あそび	14	俳句	19	言葉探し	1
ビンゴ	17	いつ、どこで、誰が？	23	大人の学校	12
漢字の足し算	12	文字入れクイズ	15	替え歌	6
大漁ゲーム	3	魚釣りゲーム	6	言葉の並び替え	25
絵心クイズ	24	間違いを探せ！	2	おみくじ	2
あいうえお作文	1	連想ゲーム	2	何県でしょうか？	6
しりとり	4	コロナをやっつけろ	3	歌詞穴埋めクイズ	7
マスク作り	3	的あてゲーム	10	ストラックアウト	11
				計 27 種類	279

【行事实施状況（日数）】

花見ドライブ	6	カーネーション作り	3	フォトフレーム作り	4
初詣ドライブ	12	夏祭り	2	年末お楽しみ会	1
鬼あてゲーム	1	敬老週間	6	感謝週間	6
餅つき	1			計 10 種類	42

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（第一号通所事業）サービス

本人・家族に希望・目標を伺い、体操を通して達成、または近づけるように、計画書を作成、実施した。午前・午後と気分を変えて音楽体操も行うことはできたが、コロナ禍により外出行事は実施できなかった。人員配置により、機能訓練加算が取れない月もあった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	0	0	0	240	12	0	0	0	342	342	332	324	1,592
運動器機能(名)	0	0	0	50	4	0	0	0	41	34	37	30	196
合計	0	0	0	290	16	0	0	0	383	376	369	354	1,788

(8) 送迎サービス

継続して状況に合わせた適切な車両選びや、家族の事情、要望などに対応した送迎サービスを提供し、安心安全に送迎できるよう、職員間で道路事情の情報共有を密に行った。また、新型コロナウイルス感染症予防として、乗車前の検温と手指消毒、送迎前後の車内の消毒も徹底した。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え	449	443	474	443	412	433	517	505	481	449	421	464	5,491
(減算)	(4)	(20)	(14)	(10)	(10)	(10)	(11)	(12)	(10)	(9)	(10)	(13)	(133)
送り	451	451	483	452	422	443	523	514	491	456	444	476	5,606
(減算)	(3)	(13)	(5)	(2)	(0)	(1)	(4)	(3)	(3)	(5)	(3)	(0)	(42)
延回数	900	894	957	895	834	876	1040	1019	972	905	865	940	11,097
(減算)	(7)	(33)	(19)	(12)	(10)	(11)	(15)	(15)	(13)	(14)	(13)	(13)	(175)

【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	465	525	554	462	428	416	536	478	532	490	456	542	5,584
ステップ ワゴン	476	521	484	480	503	445	552	519	574	523	429	514	6,020
ヴォクシー	461	428	475	451	411	453	494	454	489	461	440	503	5,520
タント(デイ)	641	732	706	704	656	665	752	644	642	612	639	717	8,110
タント(居)	326	370	438	502	508	361	445	469	424	345	455	473	5,116
タント(特)	708	744	867	820	844	806	863	867	722	728	558	611	9,138
アルトバン	70	34	70	101	51	62	148	52	35	51	41	146	861
ハイゼット	243	298	319	364	254	241	321	286	232	201	187	420	3,366
合計	3,390	3,652	3,913	3,884	3,655	3,449	4,111	3,769	3,650	3,411	3,205	3,926	44,015

(9) 看護報告（処置集計報告）

毎日のバイタルチェックの他、送迎時の家族に家での様子の聞き取り、表情や顔色等の観察による体調不良の早期発見や、体重測定、食事量、内服薬や排泄など、多面的に状態を観察し、改善に向かうよう努めた。体調不良時は家族やケアマネジャーに報告し連携に努めた。状態や希望に沿い軟膏や湿布、点眼などの処置と爪切りも行った。今年度は例年より更に感染予防を強化し、手洗い、消毒、換気を徹底した。利用時のマスク着用や衝立の設置や空気洗浄器の導入等、環境整備にも力を入れ感染予防策を強化した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	4	4	43
軟膏塗布	55	67	77	67	43	52	44	37	33	52	59	86	672
点眼	9	13	18	22	13	10	11	8	2	0	2	11	119
内服薬	144	156	164	189	193	182	184	193	199	172	159	164	2,099
体重測定	54	53	55	51	50	51	56	53	52	51	51	51	628
湿布	14	16	23	30	29	31	48	46	39	16	29	28	349
合計	279	309	340	363	331	330	346	341	328	295	304	344	3,910

(10) 事故・ヒヤリハット報告

今年度は、認知症のある利用者による異食や不潔行為が新たに報告に上がった。男性利用者による暴言も目立った。転倒・ずり落ちは事故ではなく、未然に防げたヒヤリハットが多くあった。また、内出血や器物破損は、職員の不注意な動きによるものであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	2	1	8
内出血・傷	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	9
異食・誤嚥	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
不潔行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
トラブル	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	5
車両関係	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	8
内服薬	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
利用者の暴力・暴言	0	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	2	8
職員確認ミス	1	0	0	1	1	0	0	0	1	3	1	0	8
苦情	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	5
備品物損	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6
救急車対応	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
その他	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	8
合計	7	8	7	5	6	5	2	5	6	9	7	8	75

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域、外部との関わりも少なく介護予防教室の開催は出来なかった。今後も影響は継続すると考えられる為、動向や法人指針を確認し施設間で連携を図り地域との関わり合いを検討していく。

(12) 実習生・ボランティア受入

上記にあるように、新型コロナウイルス感染症の影響のため、ボランティアや実習生の受け入れが無い状態が一年通して続いた。地域連携と共に今後の対応を検討していく。

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	令和元年度			令和2年度		
	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)
4月	58	8	4	65	0	2
5月	62	1	1	63	3	3
6月	62	0	1	63	0	2
7月	61	3	2	61	2	0
8月	62	0	2	63	2	6
9月	61	5	0	59	2	0
10月	65	5	2	62	5	6
11月	70	3	7	63	3	1
12月	64	2	2	63	2	8
1月	64	1	2	56	4	7
2月	65	2	1	54	2	5
3月	65	5	5	50	2	3
合計	759	35	29	722	27	43

(2) 介護度別利用者

要介護度	令和元年度 (令和2年3月31日現在)		令和2年度 (令和3年3月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)
支1	3	5.4	1	2.2	△2	△3.2
支2	5	8.9	3	6.7	△2	△2.2
1	25	44.6	14	31.1	△11	△13.5
2	12	21.4	17	37.8	+5	+16.4
3	7	12.5	3	6.7	△4	△5.8
4	2	3.6	4	8.8	+2	+5.2
5	2	3.6	3	6.7	+1	+3.1
介護保険外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	56	100	45	100	△11	—

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	令和元年度(名) (令和2年3月31日現在)		令和2年度(名) (令和3年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	1	0	0	0	△1	0
65～69	0	1	0	0	0	△1
70～74	1	1	0	3	△1	+2
75～79	3	1	1	3	△2	+2
80～84	4	10	2	4	△2	△6
85～89	9	13	8	12	△1	△1
90～	4	18	1	16	△3	△2
男女別合計	22	44	12	38	△10	△6
男女比(%)	33.3	66.7	24.0	76.0	△9.3	+9.3
合計	66		50		△16	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和3年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
小松	6	富士崎町	3	阿見町	1
霞ヶ岡	7	小岩田	1	生田町	1
中高津	5	西根南	1	合計	49
烏山	3	下高津	2		
港町	1	永国東	1		
上高津	3	滝田	1		
小松ヶ丘	2	天川	1		
千鳥ヶ丘	1	中村南	1		
国分町	3	永国	1		
中	2	大岩田	2		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	3
二中地区	0
三中地区	4
四中地区	28
五中地区	0
六中地区	13
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	1
合計	49

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所運営体制

主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 3 名の特定事業所Ⅱとして運営。「他部署との輪も大切に」を目標に掲げ、各事業所との情報共有・サービス調整を行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	107	107	108	110	105	103	107	109	105	104	102	103	1,270
市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	108	108	109	111	106	104	108	110	106	105	103	104	1,282

年度初めより、大きなばらつきはないものの、夏場に向けて利用者が増え、冬は体調不良者や入院が多くなり減少傾向が見られる。年間の新規利用者件数は 46 件、入退院 61 件、月平均担当者数 106 件、市外 1 件。新規依頼経路としては、主に家族、病院のソーシャルワーカー、包括支援センターなどであった。

<介護予防プラン（包括支援センター委託）>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うらら	17	17	18	17	16	18	18	15	16	14	14	13	193
かんだつ	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	19

4 月から 10 月にかけては、ほぼ安定した件数で推移した。しかし、冬場の 11 月から 3 月にかけては、体調不良や入院者が増え、休止・区分変更の見直しの結果、要介護へと移行されたケースがあったことが減少の理由となっている。

<居宅サービス契約者介護度別延べ件数前年度比>

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
R 元年度	8	107	139	595	318	225	101	36	1,529
R2 年度	7	83	122	530	411	183	139	20	1,495

総合事業、要支援 1 から 2 の利用者は、前年度と比較し 42 件減少。要介護 1 から 5 の利用者は 8 件増加している。新規利用者数は昨年より多くなっているが、支援開始後、比較的短期間で施設入所となられたり、残念ながら永眠されてしまったことにより、支援を終了しなければならないケースが増えつつあると考えられる。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	3	8	8	8	10	9	3	9	5	7	2	6	78

担当利用者の調査依頼が多くを占めている。また、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、訪問調査前に聞き取り調査を行うなど、短時間でも適切な調査を実施出来るように配慮した。

4. 新型コロナウイルス感染症予防対策

今年度は世界的な新型感染症の流行により、例年にも増して感染拡大の予防に努めた。緊急事態宣言下においては、不要不急外出を控えたのはもちろん、マスク着用、日常的にも手洗いうがいの励行、消毒液の携帯、訪問時間の短縮など、感染予防の徹底を図った。

5. 研修

土浦ケアマネジャー研究会	
10月28日	役員会
3月26日	役員会
法人内研修	
12月14日	祥風会スキルアップ研修
3月1日	同上
3月29日	同上
地域ケア会議	
7月30日	新治地区ふれあい調整会議
9月24日	同上
3月25日	同上
合同事例検討会	
3月10日	ケアプランセンター日向との合同事例検討会
その他	
10月23日	認定調査現任研修（Web研修） ・認定調査員能力向上研修会を受講して ・認定調査の基本を確認しよう ・要介護認定適正化 ・認定調査員のための感染症の基礎知識
3月11日	令和3年度介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業所説明会（Zoom）

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、例年開催されていた研修はほぼ中止となっている。下半期には非接触型での研修が増え始め、今後のオンライン研修の主流化に向けて、必要物品の購入・環境整備を行い、受講体制を整えた。

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	71	(2) 緊急通報	13	(3) 配食サービス	12

合計件数が前年度 116 件から 96 件と 20 件の減少。今年度は特別業務以外に「見守りキーホルダー更新者の確認」が追加されたが、電話での対応となった為台帳作成件数には反映しなかった。

緊急通報システムと配食サービスは数件の増加であったが相談件数は多く、その背景には家族の訪問が難しくなっている状況で安否確認の代替として希望が増えている。

2. 相談

(方法×続柄集計)

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	115	25	8	14	13	3	19	2	199
	来所	1	2	1	0	0	0	2	0	6
	訪問	138	2	0	0	0	0	2	0	142
時間外	電話	4	2	0	0	0	0	0	0	6
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	1	0	0	0	1	0	0	0	2
合 計		259	31	9	14	14	3	23	2	355

前年度の相談数合計 404 件と比較すると 49 件の減少。大幅な変化としては訪問件数が減少し、電話件数は増加している。これはコロナ感染拡大の影響から状況にもよるが、電話対応が増えたためである。

(相談区分×続柄集計)

	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1) 家族の支援	35	9	1	2	6	0	1	0	54
(2) 介護保険制度	56	11	1	4	2	0	3	0	77
(3) 福祉サービス	139	12	5	3	0	1	18	2	180
(4) 保健・医療	120	15	1	1	2	1	1	0	141
(5) 経済・住まい	12	0	2	1	2	1	0	0	18
(6) 地域の困りごと	2	0	0	2	0	0	1	0	5
(7) その他	131	9	2	2	5	2	1	0	152
(8) 二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9) 虐待・権利擁護	1	0	0	0	0	0	0	0	1
(10) ケアマネジャー支援	0	0	0	0	0	0	1	0	1
(11) 認知症関係	19	6	0	2	3	0	0	0	30
合 計	515	62	12	17	20	5	26	2	659

前年度と比較し全体的に減少傾向にあるが、「(3) 福祉サービス」「(7) その他」は増加。

今年度は「見守りキーホルダー更新者の確認」や地域包括支援センター、高齢福祉課からの見守り訪問要請が増えたためと考えられる。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数 (回)
(1) ふれあい調整会議	2
(2) スクラムネット	6
(3) その他 (在支連絡調整会議等)	12
合 計	20

今年度はコロナ感染拡大防止の為、定期的な開催とはならず、在支連絡調整会議は書面で情報共有となった。また民生児童委員定例会の開催も減ったことから個々に連絡を取り地域との連携を図った。

4. 動向と考察

- ・今年度はコロナ感染の影響から行事等が中止となり、地域と交流する機会がなかった。
- ・感染予防の為、相談は主に電話等で対応し、状況に応じて訪問する際はマスク着用とアルコール消毒を徹底した。
- ・定期見守りに関しても電話で対応したが、状況が見えないことから把握が難しく感じた。
- ・外出の機会が減っていることで、心身状態の低下した高齢者の増加が想定される。

令和2年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一
施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315
TEL 029-829-3030
FAX 029-829-3031
URL <http://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設内にウイルスを入れないことに注力しなければいけない一年となった。感染対策強化の為、物品購入や、感染対策シミュレーションを実施した。また、法人の感染対策ガイドラインの発出により、職員の行動規制を行うなど、全職員の努力により新型コロナウイルス感染者を出すことなく乗り切る事ができた。また各方面で行事等が制限されるなか、納涼祭はフロアごとに開催し、敬老会は2回に分けて実施するなどし、密にならないよう対策を取り安全に実施することができた。入居者にとって、施設の外へ出ることが制限される一年となったが、できる限り普段どおりの生活をしていただけるように、職員一丸となりケアを実践した一年となった。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

稼働率は昨年よりも2.5%低下している。ショートステイの長期利用から入所となった際に空いてしまったベッドの調整や新規利用者の獲得に時間がかかってしまったことが要因だと考える。稼働率向上のためにもベッドの空きが出てから動くのではなく、空く前にショートステイ希望者の調査を行ったり、ケアマネジャーや家族との調整を行い、スムーズにベッドコントロールしていくことが今後の課題となった。

○重点目標：ケアの視座を高める

毎月のユニット会議の中で、介護上必要となる入居者個々の課題に目を向けながらも、本人の強みとなる「できる」に着目し解決出来るよう、各職種それぞれの視点で意見交換することが出来た。またケアカンファレンスの際に話し合いの中で、個々の生活希望についても話し合うことが出来た。今後も入居者に施設生活を満足していただけるよう努めていきたい。

○重点目標：施設連携の強化

現在、構築出来ているユニット間の協力体制をより密にする為に、毎月のリーダー会議で様々なことを話し合うことが出来た。それにより、ユニットケアを基本としつつも、必要があればフロアを超えて助け合うことができるようになった。また、職員にとっては、担当のユニットの入居者様だけでなく、様々な状態の方の対応が求められようになりスキルアップに繋がった。

○重点目標：挑戦型スキルアップシステムの導入

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの研修が中止になってしまった。今後はオンラインでの研修が中心になっていくだろうとの予測をし、オンライン研修受講の環境を整えた。挑戦型の目標としては、職員アンケートを元に自ら関心を持った研修に参加出来るよう配慮することで、インプットからアウトプットへ繋がる仕組みを構築でき、モチベーション向上へと繋がった。施設内研修では、感染症対策や看取りケアについて、グループワークを通し学ぶことが出来た。

3. 稼働率報告

種 別	ユニット		ショートステイ	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
年間ベッド数（最大）	25,620	25,550	3,660	3,650
延べ人数	25,284	25,420	3,020	2,946
稼働率（%）	98.6	99.4	82.5	80.6

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 入居者推移・実数

（1）入退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	0	2	2	2	0	0	1	3	2	0	1	3	16	20
退居	0	2	2	2	0	0	2	2	2	0	1	3	16	18

（2）入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅（小規模多機能含む）	13	永眠（施設内）	13
病院	0	永眠（搬送先）	1
老健	3	居宅	1
特養	0	特養	1
合計	16	合計	16
前年度計	20	前年度計	18

（3）要介護度別 ※令和3年3月31日現在

要介護度	性別		人数計（名）	前年度人数（名）	前年度比
	男性	女性			
1	0	0	0	1	△1
2	2	7	9	8	+1
3	8	18	26	26	—
4	5	13	18	21	△3
5	2	15	17	13	+4
合 計	17	53	70	69	+1
平均要介護度	3.4	3.7	3.6	3.5	+0.1

（4）年齢構成 ※令和3年3月31日現在

年齢（歳）		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養（名）	男性	0	2	0	3	1	6	5	17
	女性	0	0	1	1	6	14	31	53
合計		0	2	1	4	7	20	36	70
前年度		0	2	0	4	9	18	37	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	1	8	26	21	14	70
	延人数	30	240	780	627	420	2,097
5	実人数	0	8	28	20	16	72
	延人数	0	248	837	620	465	2,170
6	実人数	0	9	26	21	16	72
	延人数	0	270	756	601	455	2,082
7	実人数	0	9	27	21	15	72
	延人数	0	262	789	651	465	2,167
8	実人数	0	7	24	22	17	70
	延人数	0	198	723	682	527	2,130
9	実人数	0	7	25	21	17	70
	延人数	0	210	733	630	510	2,083
10	実人数	0	7	26	21	17	71
	延人数	0	217	789	637	525	2,168
11	実人数	0	9	27	20	16	72
	延人数	0	240	777	600	479	2,096
12	実人数	0	9	28	20	15	72
	延人数	0	279	837	581	465	2,162
1	実人数	0	9	26	18	17	70
	延人数	0	279	787	558	527	2,151
2	実人数	0	9	25	20	17	71
	延人数	0	252	696	532	476	1,956
3	実人数	0	9	25	20	17	71
	延人数	0	279	758	586	535	2,158
R2年度	実人数	1	100	313	245	194	853
	延人数	30	2,974	9,262	7,305	5,849	25,420
R1年度	実人数	6	104	301	314	125	850
	延人数	163	3,111	8,980	9,319	3,687	25,222

《考察》

新型コロナウイルス感染症予防対策として、入居申込者の中から長期ショートステイ利用者を多く受け入れていたため、入退所での受け入れはスムーズに行え、稼働率をUPできた。面会制限を実施したが、ターミナル期の方には感染対策をしながらの面会を許可し柔軟に対応したことで、本人・家族に寄り添った支援ができていたと思う。要介護3・要介護5の実人数が増え、平均介護度が上がってきており、介助量も増えていることから、今後はケア技術を磨くと同時に、腰痛予防等職員の負担軽減につながる工夫も考えていく必要があると感じる。

(6) 短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	0	0	7	6	2	0	15
	延人数	0	0	0	79	157	30	0	266
5	実人数	0	0	1	6	6	3	1	17
	延人数	0	0	6	63	141	39	14	263
6	実人数	0	0	1	6	5	2	1	15
	延人数	0	0	7	94	129	34	8	272
7	実人数	0	0	1	4	6	3	1	15
	延人数	0	0	4	85	131	33	8	261
8	実人数	0	0	2	5	5	2	1	15
	延人数	0	0	15	77	122	35	11	260
9	実人数	0	0	0	8	5	2	0	15
	延人数	0	0	0	89	123	34	0	246
10	実人数	0	0	0	6	5	3	0	14
	延人数	0	0	0	81	113	39	0	233
11	実人数	0	1	1	8	5	3	0	18
	延人数	0	2	2	68	102	38	0	212
12	実人数	0	0	0	6	6	3	0	15
	延人数	0	0	0	45	120	37	0	202
1	実人数	0	0	0	9	5	3	1	18
	延人数	0	0	0	80	110	39	16	245
2	実人数	0	0	0	6	5	3	1	15
	延人数	0	0	0	79	99	37	28	243
3	実人数	0	0	2	6	6	3	1	18
	延人数	0	0	13	58	105	49	18	243
R2 年度	実人数	0	1	8	77	65	32	7	190
	延人数	0	2	47	898	1,452	444	103	2,946
R1 年度	実人数	0	0	24	101	53	41	10	229
	延人数	0	0	202	1,221	1,104	364	120	3,011

《考察》

前年度よりも稼働率が下がる結果となってしまった。実人数の減少については、新型コロナウイルス感染症予防対策として、例年よりも長期利用の枠を多くして出入りを少なくし、また、定期利用の方についても、ある程度決まったご利用者を受け入れる形とした。延べ人数の減少については、例年よりも利用対象者が少ないうえに、入所や入院等の理由によってショートステイの利用が終了した際に、スムーズに次のご利用者の案内が進められなかったことが原因と考える。これは事前の準備次第で改善可能なため、来年度は同様のことがないよう、事前準備に力を入れたい。

2. 医務

(1) MMSE 実施状況

※30点満点中23点以下は認知症の可能性が高いとされている（診断結果は参考）

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	2	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
80～84	男	0	0	1	0	0	1	1	3
	女	0	1	0	1	0	3	1	6
85～89	男	1	1	2	2	0	0	0	6
	女	1	1	1	3	2	1	0	9
90～94	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	3	2	2	2	3	3	2	17
95～	男	0	0	0	2	0	0	0	2
	女	1	1	1	1	2	0	1	7
合計		6	6	7	12	9	12	5	57

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和3年3月31日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	7	2	0	4	4	1	4	3	2	4	3	2
R1年度	8	2	0	8	1	1	2	6	2	6	2	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	0	1	1	8	0	1	4	2	1	1	2	0
R1年度	8	1	1	10	0	0	3	4	0	1	1	1

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	6	3	1	2	4	4	0	6	4	5	1	4
R1年度	7	2	1	4	3	3	0	7	3	4	3	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	2	1	4	6	0	4	3	0	0	3	0	4
R1年度	2	3	3	6	0	4	2	0	0	3	1	4

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	7	1	2	3	2	5	1	3	6	2	2	6
R1年度	7	1	2	1	3	6	0	2	8	0	6	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	5	2	3	4	2	4	1	0	0	6	1	2
R1年度	3	3	4	4	2	4	0	1	0	6	1	2

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	7	2	1	5	2	3	3	4	3	5	2	3
R1年度	8	1	1	4	3	3	2	5	3	3	4	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	6	1	3	7	0	3	1	5	0	1	1	2
R1年度	6	2	2	8	0	2	2	3	0	2	1	2

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	10	0	0	6	2	2	0	7	3	4	3	3
R1年度	8	1	1	4	0	5	1	4	5	1	4	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	2	2	1	8	2	0	4	1	0	4	0	0
R1年度	3	3	2	6	0	4	1	1	0	6	0	2

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	5	3	2	2	2	6	0	5	5	1	4	5
R1年度	3	3	4	2	4	4	0	6	4	1	2	7
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	2	4	4	2	3	5	1	0	9	1	5	4
R1年度	2	3	5	2	4	4	0	1	0	1	3	5

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	7	1	1	0	2	7	0	3	6	0	3	6
R1年度	8	1	1	2	4	4	0	6	4	0	6	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	1	2	6	5	2	2	0	1	0	4	3	2
R1年度	2	5	3	5	2	3	1	0	0	2	6	2

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	7	1	2	0	4	5	0	7	3	0	7	3
R1年度	7	1	2	0	5	5	0	4	6	0	4	6
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R2年度	0	3	7	3	2	5	0	0	0	3	2	5
R1年度	0	5	6	4	2	4	1	0	0	2	2	5

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	20	271
処置	126	173	166	154	151	161	108	119	137	101	91	130	1,617
軟膏・湿布	71	71	71	71	71	71	71	71	70	70	69	69	846
テープ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	71
救急対応	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	2	7
お看取り	1	1	1	0	1	3	2	2	2	1	3	5	22

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	合 計
延人数	69	526	17	76	3	6	
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	
延人数	0	3	659	0	7	0	

(5) 入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	71	62	65	93	69	72	62	53	51	67	66	65	796
特浴	20	23	21	16	17	9	12	14	18	8	10	8	176
清拭	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	93	85	86	109	86	81	74	67	69	75	76	73	974

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	57	51	52	54	53	51	53	62	62	62	58	63	678
特浴	33	34	36	36	33	34	33	26	25	24	22	26	362
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	90	85	88	90	86	85	86	88	87	86	80	89	1,040

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	62	60	61	58	61	61	60	56	63	59	54	61	716
特浴	24	26	24	25	27	27	25	24	27	21	21	22	293
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	86	86	85	83	88	88	85	80	90	80	75	83	1,009

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	72	75	75	75	78	77	72	75	78	73	61	65	876
特浴	9	8	8	10	9	9	8	9	13	16	16	24	139
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	81	83	83	85	87	86	80	84	91	89	77	89	1,015

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	54	43	57	70	62	58	52	52	75	68	65	66	722
特浴	33	32	23	20	25	22	34	31	18	17	16	18	289
清拭	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	87	76	80	90	87	80	86	83	93	85	81	84	1,022

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	51	51	41	40	58	45	41	40	56	42	41	43	549
特浴	31	31	28	45	43	42	45	42	39	61	55	43	505
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合 計	82	82	69	85	101	87	86	82	95	103	96	88	1,056

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	59	54	50	64	44	43	50	47	51	35	49	50	596
特浴	24	21	32	31	35	33	34	31	36	36	38	36	387
清拭	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	84	75	82	95	79	76	84	78	87	71	87	86	984

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	34	33	30	31	27	28	29	26	27	26	20	24	335
特浴	51	49	47	58	55	56	52	54	57	56	47	57	639
清拭	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
合 計	85	84	78	89	82	85	81	80	84	82	67	81	978

ユニット間での協力・連携により、個浴の人数調整や個浴を行っている際の見守りなど円滑に進めることができた。特浴対象者の増加傾向がみられ、個人にあった入浴方法を見直すタイミングにきていると考えられるため、来年度の課題としたい。

3. 給食

(1) 令和2年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,600	50.0	40.5	550	9.0	520	0.8	0.8	85	8.0
4月	1,591	58.6	40.9	606	8.3	525	0.79	0.75	93	7.9
5月	1,591	57.8	39.6	623	7.8	545	0.82	0.73	86	8.0
6月	1,613	57.1	41.9	601	7.6	527	0.79	0.72	84	8.1
7月	1,595	58.0	40.7	602	7.5	549	0.78	0.73	81	8.2
8月	1,605	58.3	42.1	585	7.8	535	0.8	0.73	87	7.9
9月	1,589	58.2	39.9	594	7.5	544	0.75	0.73	79	8.1
10月	1,599	57.0	41.3	560	7.5	584	0.78	0.74	82	8.2
11月	1,616	57.5	43.2	625	7.7	542	0.75	0.73	77	8.2
12月	1,612	58.1	43.3	593	7.7	545	0.73	0.76	77	8.3
1月	1,602	57.7	41.8	590	7.7	553	0.75	0.74	79	7.9
2月	1,607	56.7	41.7	570	7.5	543	0.74	0.74	79	8.1
3月	1,601	57.7	41.4	595	7.6	544	0.77	0.73	82	8.0

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合 計
特養	24,971	25,173	25,331	75,475
ショートステイ	2,511	2,802	2,752	8,065
デイサービス	0	5,828	0	5,828
職員	0	4,527	0	4,527
来客	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0
延人数	27,482	38,330	28,083	93,895

②選択食

日 時	A	B
8/26	油淋鶏	赤魚の唐揚げ(ネギソースかけ)

③行事食

1	日 時	4月2日	行事名	春の訪れ
	釜揚げしらす丼、清汁、春キャベツと新玉ねぎのグラタン、イチゴゼリー			
2	日 時	4月22日	行事名	お花見弁当
	空豆ご飯、若竹汁、鱈の照り焼き、エビフライ、菜の花の白和え、春野菜の炊き合わせ、香物 オレンジ おやつ：苺ミルクプリン			
3	日 時	5月5日	行事名	こどもの日
	鶏五目ちらし、清汁、天麩羅、抹茶ゼリー おやつ：鯉のぼりパンケーキ			
4	日 時	5月18日、19日、20日	行事名	新茶イベント
	新茶 18日→桃饅頭、19日→どら焼き、20日→白ようかん			
5	日 時	6月5日	行事名	岡山県郷土料理
	ドミカツ丼、コンソメスープ、茄子のおろし和え、白桃			
6	日 時	6月12日、17日、18日	行事名	アイスイベント
	アイスクリーム(いちごミックスまたはチョコミックス)			
7	日 時	6月29日	行事名	夏越の祓
	夏越ご飯、清汁、胡瓜と竹輪の梅肉和え、パイン おやつ：水無月風			
8	日 時	7月7日	行事名	七夕
	七夕ちらし寿司、清汁、天麩羅、オレンジ おやつ：七夕ゼリー			
9	日 時	7月21日	行事名	土用の丑の日
	うな丼、清汁、香味奴、黒ごまプリン			
10	日 時	7月26日	行事名	納涼祭
	焼きそば、鶏の唐揚げ、大判焼き、チョコバナナ、かき氷			
11	日 時	8月13日	行事名	お盆
	赤飯、清汁、天麩羅、キャベツとツナの辛子マヨ和え、フルーツ寒天			
12	日 時	9月13日	行事名	敬老会
	赤飯、清汁、天麩羅、鶏のゆず風味焼き、刺身、炊き合わせ、五色なます、マロンババロア			
13	日 時	9月22日	行事名	重陽の節句
	銀杏ご飯、清汁、赤魚の粕漬焼き、菊花のお浸し、梨			
14	日 時	10月7日、15日、16日	行事名	おやつバイキング
	かぼちゃババロア、マロンババロア、いちごロールケーキ、抹茶ケーキ、大判焼き、コロッケバーガー			
15	日 時	10月30日	行事名	ハロウィン
	きのこピラフ、コンソメスープ、かぼちゃのシチュー、ブロッコリーとエビのミモザサラダ ヨーグルトババロア おやつ：パンプキンケーキ			
16	日 時	11月9日、10日、12日	行事名	焼き芋イベント
	焼き芋			
17	日 時	11月25日	行事名	秋の行楽弁当
	きのこご飯、清汁、カキフライ、エビフライ、牛肉と根菜の甘辛炒め、鮭の塩麴焼き、厚焼卵 香物、柿			
18	日 時	12月13日	行事名	クリスマス会
	フライドチキン、フライドポテト、クリスマスケーキ			
19	日 時	12月24日	行事名	クリスマスイブ

	チキンライス、コンソメスープ、エビフライ、エビグラタン、フルーツポンチ おやつ：クレープ			
20	日 時	12月25日	行事名	クリスマス
	サフランライス、コンソメスープ、ローストチキン、海老とアボカドのカクテルサラダ フルーツヨーグルト おやつ：苺ミルクプリン			
21	日 時	12月26日	行事名	餅つき
	お餅			
22	日 時	12月31日	行事名	大晦日
	年越しそば、エビの天麩羅、胡瓜と竹輪の和え物、ぶどうムース			
23	日 時	1月1日	行事名	元旦
	赤飯、清汁、ぶりの照り焼き、伊達巻、黒豆、八幡巻き、みかん			
24	日 時	1月2日	行事名	正月
	海鮮親子ちらし、みそ汁、筑前煮、抹茶ゼリーの黒蜜かけ おやつ：紅白饅頭			
25	日 時	1月4日	行事名	正月
	稲荷寿司、清汁、天麩羅、小松菜ときのこの和え物、フルーツ			
26	日 時	1月7日	行事名	七草粥
	七草粥、みそ汁、厚焼卵、切干大根の和え物、たいみそ			
27	日 時	2月2日	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鰯のゆず味噌煮、寒天ゼリー			
28	日 時	2月13日	行事名	バレンタイン
	チョコレートプリン			
29	日 時	2月23日	行事名	天皇誕生日
	握り寿司、清汁、天麩羅、苺ミルクプリン			
30	日 時	3月3日	行事名	ひな祭り
	鮭ちらし寿司、あさり汁、白身魚しんじょの野菜あんかけ、桃ムース			
31	日 時	3月20日	行事名	春分の日
	ぼた餅風			
32	日 時	3月26日	行事名	春メニュー
	桜エビのかき揚げ丼、みそ汁、菜の花の粒マスタード和え、イチゴムース			

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	10	15	20	10	8	10	10	12	21	9	10	12	147

《考察》

個人の状況に合わせて栄養ケアマネジメントを行うことができた。また、前年度よりも行事食を増やし、季節を感じられるメニューを提供することができた。次年度は嚥下機能に重点をおき、関連職種と連携して、嚥下機能の維持・向上を目指していきたい。また、行事食だけではなく、普段の食事の質を上げ、より満足度の高い食事を提供できるように努める。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	10	14	20	10	7	10	10	11	21	9	10	11	143

※開催合計 143 回

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	4	2	5	3	2	2	2	3	3	1	2	1	30

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

①委員会

1	入所検討委員会	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、地域の感染状況を考慮し、書面開催等工夫して開催した。入居申込者については緊急性等を公平に検討することができた。今後も臨機応変に動き、入居を必要とする方に適切なタイミングで案内ができるようにしていきたい。
2	防災対策委員会	新型コロナウイルス感染症予防のため、密になってしまう集合スタイルの避難訓練は実施できなかったが、代わりに施設内設備の定期的な確認を行うことができた。来年度は、情勢を見ながら必要な感染対策を取りつつ訓練を再開させたい。警察へ協力依頼しての防犯対策が実施できなかったので次年度行いたい。
3	身体拘束適正化委員会	定期開催・臨時開催を通し、身体拘束が必要な場合に適正な検討・実施ができるように話し合うことができた。身体拘束をなくすことはできなかったため、今後も経過を確認し、不要な拘束が行われることのないよう対応していきたい。
4	感染予防委員会 (安全衛生委員会)	ストレスチェック・腰痛検査は例年通り実施できた。また、負担の少ない介助方法等について、スライディングボード等の福祉用具を活用した方法の検討を進めることができた。今後はより安全に働ける環境作りを目指し安全性という視点から見直しを行っていきたい。
5	職場定着委員会	今年度は新型コロナウイルス感染症のための感染予防対策があり、食事やバーベキュー等、食事を介した職員交流の場が持てなかった。今後、感染対策を講じたうえで出来る交流方法を考え、誰もが不安を感じることはない人間関係作りに力を入れたい。業務改善については、課題が出たタイミングで迅速に対応できていた。
6	給食委員会	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、県内外の状況を把握しながら、委員会を開催した。面会の家族やボランティア、外部業者等、これまで施設を出入りしてもらっていた方々についても、制限を設け、周知・協力依頼を図った。高齢者は重症化リスクがある為、職員全員が細心の注意を払って対策を実施することができた。
7	褥瘡予防委員会	委員を中心に定期的に開催し多職種連携ができた。他職種間で褥瘡予防の知識を共有し日ごろのケアに活かすことが出来た。

8	物品購入委員会	在庫の管理表を見直したことで、以前よりも無駄のない発注ができた。オムツ類については、利用者の状態の変化や入退所に合わせて柔軟に対応していきたい。
---	---------	--

(2) 全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
7	26	納涼祭	78	21	0	99
9	13	敬老祝賀会	78	18	0	96
12	13	クリスマス会	78	23	0	101
1	3	正月式	75	17	0	92

(3) ユニット行事

①あじさい

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月19日	しおりカフェ	あじさいユニット	7	2	0	9
5月24日	おいしいお茶会		8	2	0	10
6月14日	お茶会		10	2	0	12
7月7日	七夕		10	2	0	12
7月26日	夏祭り		8	3	0	11
9月13日	敬老祝賀会	地域交流スペース	9	2	0	11
9月25日	誕生会	あじさいユニット	7	2	0	9
9月27日	しおりカフェ		8	2	0	10
10月31日	季節を感じるおやつ作り		9	3	0	12
11月8日	しおりカフェ		9	2	0	11
11月27日	出前食		8	3	0	11
12月13日	クリスマス会		8	3	0	11
12月22日	ゆず湯イベント①		1	1	0	2
12月23日	ゆず湯イベント②		1	1	0	2
12月24日	ゆず湯イベント③		3	1	0	4
12月25日	ゆず湯イベント④		2	1	0	3
12月26日	ゆず湯イベント⑤	3	1	0	4	
1月3日	正月式	地域交流スペース	5	1	0	6
1月26日	焼き芋	つつじユニット中庭	8	1	0	9
2月23日	誕生会	あじさいユニット	9	3	0	12
3月24日	誕生会・出前食		9	2	0	11

②りんどう

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
5月17日	母の日会	りんどうユニット	10	3	0	13
6月27日	父の日会		10	3	0	13
7月24日	誕生会		10	3	0	13
7月26日	夏祭り	地域交流スペース	10	3	0	13
8月15日	誕生会	りんどうユニット	10	2	0	12
9月13日	敬老会	地域交流スペース	10	3	0	13
9月17日	誕生会	りんどうユニット	10	3	0	13
10月20日	誕生会		10	3	0	13
11月10日	誕生会		10	2	0	12
12月13日	クリスマス会		10	3	0	13
12月15日	誕生会		10	2	0	12
1月3日	正月式		10	2	0	12
3月21日	誕生会		10	3	0	13

③つつじ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
6月13日	新じゃが	つつじユニット	10	3	0	13
6月22日	ベビーカーセラ		10	3	0	13
7月16日	出前寿司		6	3	0	9
7月30日	お菓子会		10	3	0	13
8月21日	スイカ割		10	3	0	13
9月5日	誕生会		10	2	0	12
9月13日	敬老会	地域交流スペース	9	3	0	12
9月15日	出前食（川路）	つつじユニット	8	4	0	12
10月18日	誕生会		9	3	0	12
10月22日	手打ちうどん・天ぷら		10	4	0	14
11月22日	出前食（川路）		7	3	0	10
12月13日	クリスマス会		10	2	0	12
1月3日	書初め・正月式		6	3	0	9
2月16日	出前食（川路）		7	2	0	9
3月21日	誕生会		10	2	0	12
3月24日	出前食（くら寿司）	8	3	0	11	

④カンナ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
6月26日	父の日	カンナユニット	10	3	0	13
7月26日	夏祭り		10	3	0	13
9月13日	敬老会	地域交流スペース	10	3	0	13
12月13日	クリスマス会	カンナユニット	10	3	0	13
1月3日	正月式		10	2	0	12
3月23日	誕生会		10	2	0	12

⑤ひまわり

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月22日	出前食	ひまわりユニット	10	2	0	12
5月21日	誕生会		10	1	0	11
6月19日	誕生会		10	1	0	11
7月17日	夏祭り	ひまわりユニット	10	2	0	12
7月20日	七夕会		10	1	0	11
8月13日	甘味処		10	1	0	11
8月16日	しおりカフェ		10	2	0	12
9月17日	おやつレク (ところてん)		10	2	0	12
10月18日	居酒屋		10	2	0	12
11月18日	誕生会		10	2	0	12
12月13日	クリスマス会		10	3	0	13
12月20日	おやつレク (冬至)		10	3	0	13
1月14日	誕生会		10	3	0	13
2月14日	誕生会		10	2	0	12
3月21日	誕生会		10	2	0	12

⑥ばら

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月22日	誕生会	ばらユニット	10	2	0	12
5月10日	母の日会		10	2	0	12
6月25日	父の日会		10	2	0	12
7月16日	おやつレクリエーション		10	1	0	11
8月23日	おやつレクリエーション		10	2	0	12
9月20日	しおりカフェ		10	2	0	12
9月21日	敬老の日食事会		10	1	0	11
10月25日	しおりカフェ		10	1	0	11
10月26日	誕生会		10	2	0	12
11月22日	誕生会		10	2	0	12
12月23日	クリスマス会		10	4	0	14
12月21日	おやつレク		10	3	0	13
1月12日	誕生会		10	3	0	13
2月23日	誕生会		10	2	0	12

⑦すいせん

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月8日	桜餅作り	すいせんユニット	10	3	0	13
5月17日	しおりカフェ		3	2	0	5
5月15日	母の日会		10	2	0	12
5月19日	緑茶イベント		10	2	0	12
5月27日	出前食・はま寿司		10	2	0	12
6月28日	しおりカフェ		10	2	0	12

7月26日	納涼祭	2階・畳スペース	10	2	0	12
8月23日	スイカ割り	すいせんユニット	10	2	0	12
9月13日	敬老会		10	1	0	11
9月24日	誕生会		10	2	0	12
10月17日	誕生会		10	2	0	12
10月18日	しおりカフェ		すいせんユニット	10	1	0
10月16日	スイーツバイキング	10		2	0	12
11月24日	秋の行楽弁当	10		2	0	12
11月29日	しおりカフェ	10		2	0	12
12月13日	クリスマス会	10		3	0	13
12月27日	誕生会	10		3	0	13
11月27日	誕生会	9		2	0	11
1月3日	お正月会	地域交流スペース	10	2	0	12
1月23日	正月式	すいせんユニット	9	2	0	11
2月21日	誕生会		10	2	0	12
3月14日	誕生会		9	2	0	11

⑧コスモス

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月30日	桜餅作り	コスモスユニット	9	3	0	12
5月11日	母の日		8	2	0	10
5月16日	おやつ作り		9	3	0	12
5月31日	しおりカフェ		10	2	0	12
6月21日	父の日		8	3	0	11
6月25日	誕生会		8	2	0	10
7月11日	誕生会		10	3	0	13
7月12日	しおりカフェ		10	2	0	12
7月26日	納涼祭		10	3	0	13
8月22日	誕生会		10	2	0	12
8月23日	スイカ割り		10	2	0	12
9月13日	敬老祝賀会		地域交流スペース	10	3	0
9月27日	おやつ作り	コスモスユニット	10	2	0	12
10月24日	おやつ作り		10	2	0	12
11月22日	誕生会		10	1	0	11
12月13日	クリスマス会		10	2	0	12
12月20日	お寿司食べ		10	2	0	12
1月3日	正月式		地域交流スペース	10	2	0
1月24日	新年出前寿司	コスモスユニット	10	2	0	12
2月26日	誕生会		10	2	0	12
3月23日	誕生会		10	2	0	12

(4) ユニット費

① あじさいユニット

月平均額	年間累計
¥7,642	¥91,705

- ・消臭剤などの日用品を主に購入し、清潔な環境を提供出来た。
- ・レク用品なども利用者と一緒に取り組むことでリハビリにもつながり効果的に季節感を出すことができた。

② りんどうユニット

月平均額	年間累計
¥7,295	¥87,541

- ・ユニット費は、主に飲み物、季節の飾りに使用。今年度は、おしぼりをいい香りにするための柔軟剤の購入や、余暇時間の充実のため新聞の購読を10月より開始するなど活用した。
- ・入居者に喜んでもらえるようユニットで色々考え実践することができた。今年度は設備の方にも力を入れていきたい。

③ つつじユニット

月平均額	年間累計
¥9,811	¥117,727

- ・装飾品や園芸用品を主に購入し、入居者とともに作成や活動をすることで四季を感じながら生活を送って頂くことにつながった。
- ・ユニット行事でも雰囲気作りに力を入れることができ、視覚や嗅覚を刺激できた。
- ・消耗品では、清潔感を主に考え消臭剤など効果的に無駄のないよう使用した。

④ カンナユニット

月平均額	年間累計
¥3,166	¥37,997

- ・消臭剤など消耗品を中心に購入した。
- ・今後は季節感のある装飾品を購入し季節感が出る様に活かしていきたい。

⑤ ひまわりユニット

月平均額	年間累計
¥4,424	¥53,082

- ・入居者の娯楽活動のための雑誌等やユニット内の装飾品、清潔に過ごして頂く為の環境整備に必要な物品を購入。
- ・娯楽活動で共有できる物品を購入し入居者同士の交流が増えた。今後も入居者に活気ある生活を送って頂けるようユニット費を活用していく。

⑥ ばらユニット

月平均額	年間累計
¥7,642	¥91,700

- ・飲み物、季節ごとの装飾品、娯楽品、植物など利用者が目で楽しめる物を購入した。
- ・今後も目で見て喜んでもらえる物や、参加しながら楽しめる娯楽品を購入していきたい。

⑦ すいせんユニット

月平均額	年間累計
¥6,033	¥72,392

- ・毎日気持ち良く生活ができ、ゆっくりと余暇活動が楽しむことができるよう活用した。
- ・DVD プレーヤーを購入して音楽を毎日楽しむことができた。もっと活用できる余暇活動を考えていく。入居者に喜ばれ、生活が活性化できるような物を購入していきたい。購入は良く検討し、買ったままにならないようにする。

⑤ コスモスユニット

月平均額	年間累計
¥7,626	¥91,512

- ・主に装飾がメインで、手作りの装飾もあるが、少し金額を上げて手作りではない色とりどりの造花や飾り物を購入し、より季節感を感じられるユニットを創り出すことができた。
- ・用途を間違え、修正テープ等の事務用品を購入してしまったので今後は気を付けていく。
- ・毎月1万円という金額なので、よりグレードの高い装飾品やいろいろな種類の飲み物を購入することができ、入居者もおやつの飲み物を楽しみにされている。

6. 研修

(1) 内部研修報告（施設内勉強会）

実施日	内容	参加人数（名）
10月1日	コロナ感染対策シミュレーション（19:00～20:00）	48
11月2日	高齢者の権利擁護（18:30～19:00）	39
合計		87

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数	オンライン
認知症介護基礎研修	7月22日	介護職員	認知症介護の基礎を学ぶ	2	
新型コロナウイルス感染症対策研修会	7月22日	看護主任 介護主任	新型コロナウイルス感染対策マニュアル、基本的知識、ゾーニング等	2	
安全運転管理者講習会	10月21日	施設長	安全運転管理者としての知識	1	
給食研究会（ブロック合同研修会）	11月11日	管理栄養士	今更聞けないこんなこと	1	
ユニットリーダー研修	1月11・ 19・20日	介護職員	ユニットリーダーとしての知識を学ぶ	1	✓
ユニットリーダー研修	1月23・ 3月4・5日	介護職員	ユニットリーダーとしての知識を学ぶ	1	✓
R3改正・介護報酬セミナー（特養）	3月9日	生活相談員	介護報酬改定のポイント	2	✓
合計				10	

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる研修が多く、実施の場合にも参加を躊躇する職員意見が多く、参加見送りとする事が多かった。オンラインでの研修が定番になりつつあり、来年度はオンライン研修へ参加する体制を施設内で十分整え、事前に職員へどのような研修に参加したいかアンケートを取り、希望の研修へ参加出来るよう努めていく。

7. 実習生受入れ

(1) 学校別集計（デイサービスを含む）

受入れ実績なし

(2) 実習種類別集計（デイサービス含まず）

受入れ実績なし

8. ボランティアの受け入れ

受入れ実績なし

実習生・ボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策として外部の施設内立ち入りを制限したため、今年度は受入れ実績なしとなった。来年後は状況を把握しつつ、少しずつ受入れ体制を整えていきたいと考える。

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用を自粛された方がおり、4月～9月までの上期平均利用者数は18.6名と昨年度の稼働率と比較し、6.9%の減少となった。下期は、平均利用者数20.9名と昨年度の稼働率より3.51%増となった。理由として、上半期は新型コロナウイルス感染症による影響により外出機会が減った事が挙げられる。下半期になると、新型コロナウイルス感染症に対する事業所や個々の感染対策も進み、それを周知する事で、ご利用者様本人をはじめ、ご家族や担当ケアマネジャーの安心も得られるようになった。その結果、利用休止の方が利用再開、また新規利用希望等により稼働率の増加となった。尚、新規利用者については、社会交流や閉じこもり予防を意識されるという理由が背景となっている。

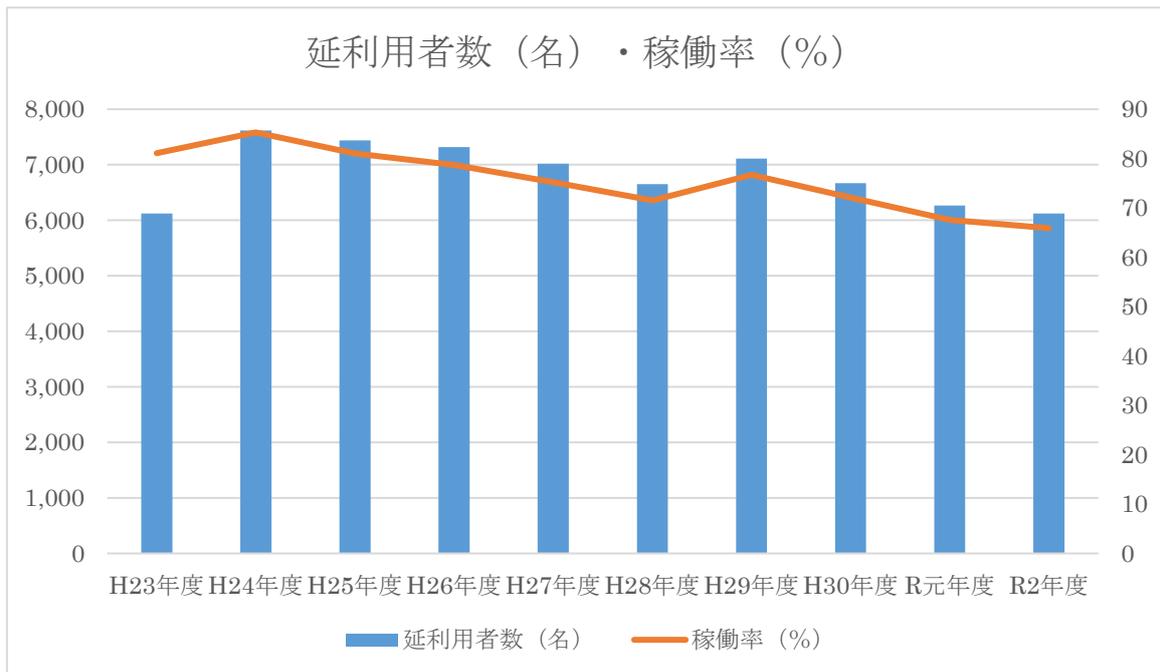
デイサービスでは比較的、集団で活動することが多く、1日のスケジュールや人員確保の問題で個別のニーズに対応することが難しいこともあるが、ご利用者様からの「自宅では出来ない楽しいことがしたい」「余暇時間に個別でリハビリをしたい」などの様々な声に沿えるよう考え、顧客満足度の向上に繋げたい。

2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310
実人数(名)		55	50	51	53	52	58	59	59	55	57	57	58	664
延人数(名)		466	478	487	517	482	494	549	513	529	504	526	526	6119
令和 元年度	平均利用者数(名)	19.5	21.3	21.5	20.2	20.9	20.7	20.5	19.8	19.8	20.2	19.8	19.0	20.3
	稼働率(%)	64.9	71.1	71.7	67.4	69.8	69.1	68.3	65.9	66.1	67.4	66.0	63.2	67.6
令和 2年度	平均利用者数(名)	17.9	18.4	18.7	19.1	18.5	19.0	20.3	20.5	20.3	21.0	21.9	21.3	19.7
	稼働率(%)	59.7	61.3	62.4	63.8	61.8	63.3	67.8	68.4	67.8	70.0	73.1	70.9	65.9
稼働率(%) 前年度比		△5.2	△9.8	△9.3	△3.6	△8.0	△5.8	△0.5	2.5	1.7	2.6	7.1	7.7	△1.7

(2) 年間利用状況の推移



	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延利用者数 (名)	6,123	7,616	7,438	7,316	7,016
稼働率 (%)	81.1	85.3	81.0	78.7	75.2
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数 (名)	6,649	7,112	6,669	6,265	6,119
稼働率 (%)	71.5	76.7	72.1	67.6	65.9

(3) 介護度別利用状況

	令和元年度		令和 2 年度		前年度比	
要介護度	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)	延人数 (名)	構成比 (%)
事業対象者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
支 1	114	1.8	71	1.2	△43	△0.6
支 2	281	4.5	349	5.7	68	1.2
1	1,154	18.4	1,163	19.0	9	△0.6
2	3,070	49.0	3,013	49.2	△57	0.2
3	794	12.7	921	15.1	127	2.4
4	699	11.2	437	7.1	△262	△4.1
5	153	2.4	165	2.7	12	0.3
介護保険外	0	0.0	0	0.0	-	-
計	6,265	100	6,119	100	△146	-

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

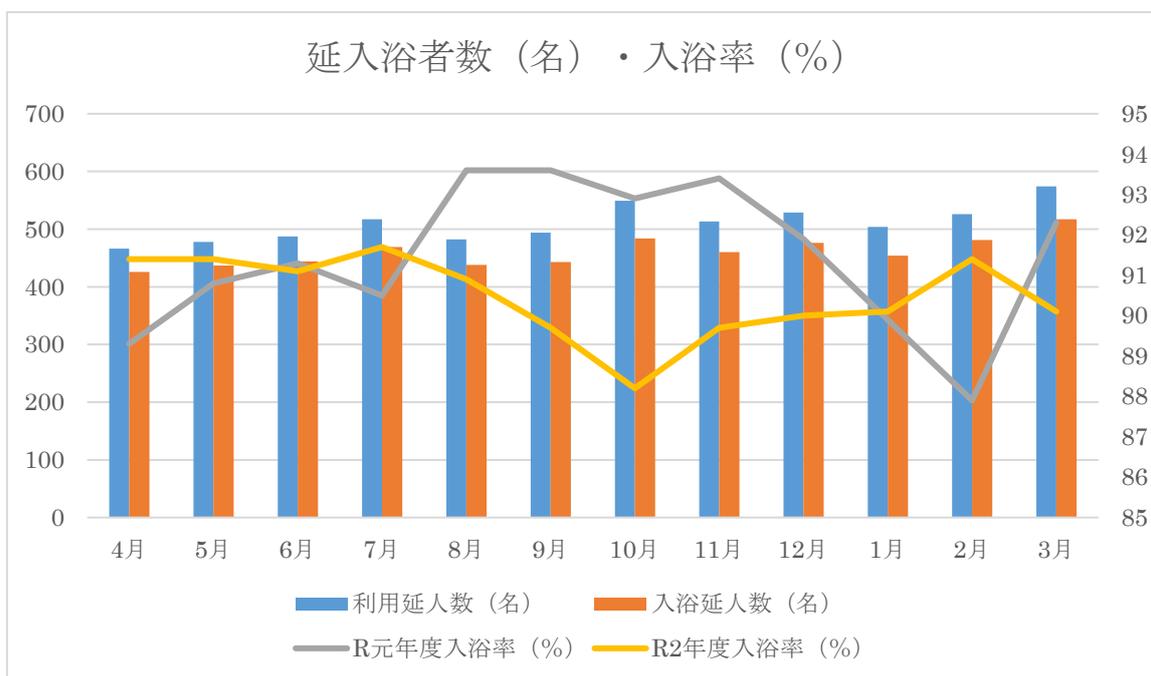
利用者や家族、ケアマネジャーからの要望など出来る限り受入れ、早帰りや入浴のみの対応等希望があれば、可能な限り対応することが出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

ケアマネジャーや家族と情報共有をする為、定期的カンファレンスを行ない、通所介護計画書の説明や電話連絡等で状況把握に努めた。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

利用者のプライバシーを守り、清潔保持・安心安全を心掛け入浴サービスの提供ができた。身体の異変がある方に対し観察を十分に行ない、報告、連絡を怠らない様支援することができた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数 (名)	466	478	487	517	482	494	549	513	529	504	526	574	6,119
入浴延人数 (名)	426	437	444	469	438	443	484	460	476	454	481	517	5,529
入浴率 (%)	令和元年度	89.3	90.8	91.3	90.5	93.6	92.9	93.4	91.9	89.9	87.9	92.3	91.5
	令和2年度	91.4	91.4	91.1	90.7	90.9	89.7	88.2	89.7	90.0	90.1	90.1	90.4
前年度比 (%)	2.1	0.6	△0.2	0.2	△2.7	△3.9	△4.7	△3.7	△1.9	0.2	3.5	△2.2	△1.1

(4) 食事サービス

メニューには五感で楽しむ事ができるよう、季節の食材をつかったメニューや、イベント食と題してお楽しみ感を設けることで好評を得た。また食事形態では、常食で自立摂取の方が多いが、個々の状況に合わせて肉やフライ等食べにくいメニュー時に、希望に合わせてカットすることで食べやすさにも配慮し安全に楽しんでいただく事ができた。

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者のプライバシーを守りながら身体的負担を軽減できるよう一人ひとりにあった排泄介助サービスを行なう事ができた。また、異変などあった際には、報告・連絡することができた。

(6) レクリエーション・行事

新型コロナウイルス感染症の関係で実施することができなかった行事等あったが、天気の良い日には気分転換を図るとともに代替案を考え実施することができた。また感染予防に努める事ができた。

【レクリエーション実施状況（回数）】

おとなの学校	13	ことわざクイズ	5	穴埋め四字熟語	2
ビー玉のせ	18	紙コップけん玉	25	カラオケ	3
豆つかみ	22	ビー玉ストロー	20	レンゲリレー	1
お手玉のせ	11	黒ひげ	1	新聞ちぎり	13
マキマキ	23	しりとり	15	タオル落とし	1
輸送り	1	「～」のつく言葉	4	餅つきクイズ	1
魚釣り	30	くつつきの当て	5	都道府県当てクイズ	3
連想ゲーム	14	ことわざ四字熟語	3	輪投げ	34
紅白カルタ	2	ボウリング	1	回想ゲーム	1
漢字クイズ	12	物干しゲーム	2	計 29 種類	286

【行事実施状況（日数）】

誕生会	12	買い物会	0	運動会	1
甘味ドライブ	0	夏祭り	1	紅葉ドライブ	1
お花見（桜）	1	外食会	0	クリスマス会	1
忘年会	0	もちつき	1	初詣	0
				計 12 種類	18 回

(7) 個別機能訓練（介護）・運動機能向上（予防事業）サービス

作業療法士と連携し、利用者の希望や目標に合わせて心身機能の評価を3ヶ月毎に実施した。利用者の機能維持、向上に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	20	12	10	19	14	13	18	16	12	17	14	15	180
運動器機能（名）	6	0	1	7	0	1	7	0	0	5	0	0	27
合計	26	12	11	26	14	14	25	16	12	22	14	15	207

(8) 送迎サービス

利用者を安全に送迎できるよう、憩いの里独自の危険区域マップの活用やハザードマップの活用で情報共有に努めた。乗り慣れない車両がある職員に関しては上司が同乗し事前の練習を行なった事で大きな事故等なく一年間安全な送迎を提供できた。

【送迎状況】

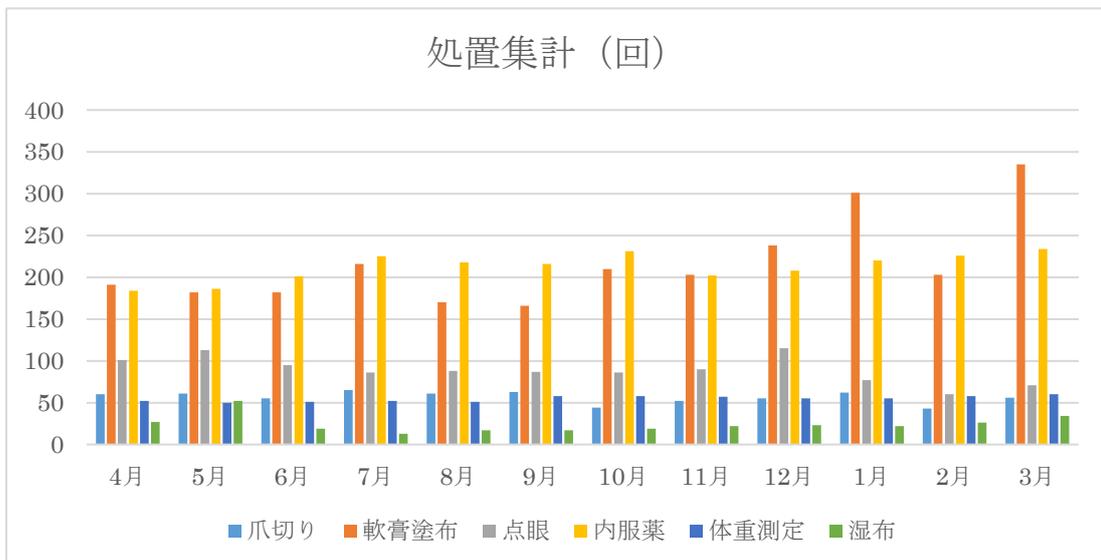
回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	447 (19)	463 (15)	472 (15)	505 (12)	473 (9)	484 (10)	531 (18)	501 (12)	517 (12)	494 (10)	509 (17)	560 (14)	5,956 (163)
送り (減算)	449 (17)	459 (19)	470 (17)	499 (18)	464 (17)	475 (19)	531 (18)	494 (19)	510 (19)	489 (15)	518 (8)	566 (8)	5,924 (194)
延回数 (減算)	896 (36)	922 (34)	942 (32)	1,004 (30)	937 (26)	959 (29)	1,062 (36)	995 (31)	1,027 (31)	983 (25)	1,027 (25)	1,126 (22)	11,880 (357)

【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	701	763	651	767	722	765	777	910	613	650	784	873	8,976
ヴォクシー	880	783	820	724	592	707	739	876	623	752	708	771	8,975
プレマシー	455	456	625	604	564	510	756	435	842	765	632	832	7,476
シエンタ	709	710	713	871	888	905	879	946	877	804	691	788	9,781
ハイゼット	612	832	844	745	685	583	603	777	712	749	663	473	8,278
タント	849	867	595	953	906	971	996	1055	903	894	929	983	10,901
合計	4,206	4,411	4,248	4,664	4,357	4,441	4,750	4,999	4,570	4,614	4,407	4,720	54,387

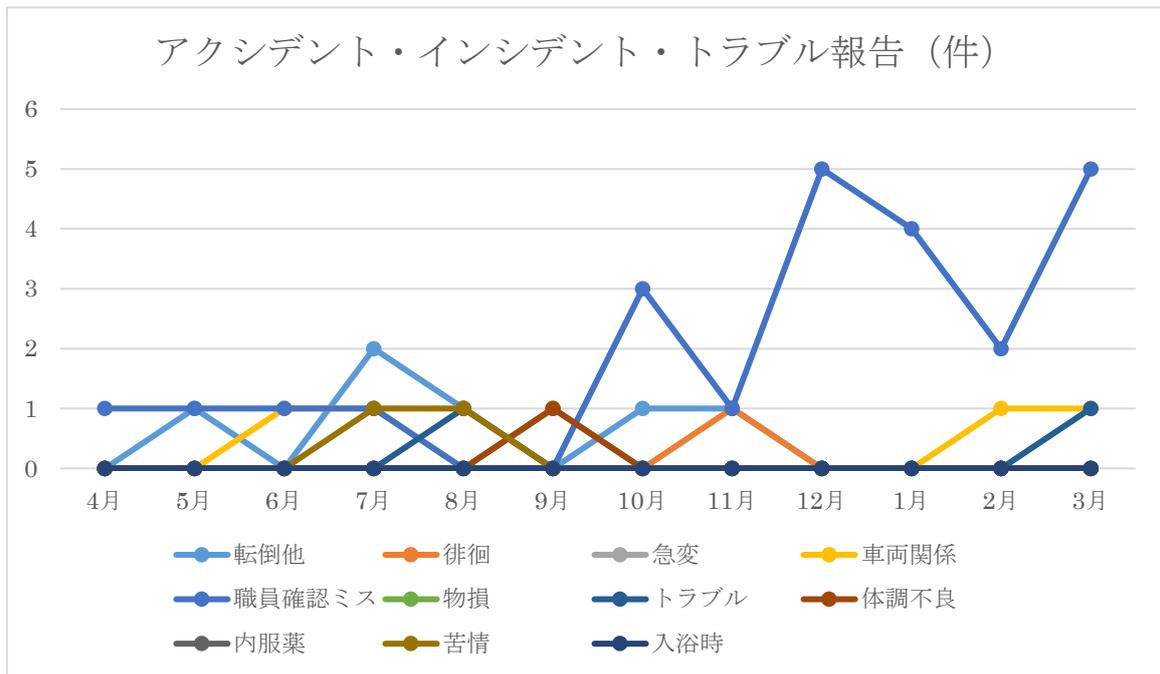
(9) 看護報告（処置集計報告）

利用者の健康状態把握の為、朝の送迎時に体温測定・手指消毒・体調確認を実施。来所後にバイタル測定を実施した。入浴時には介護職員と連携し、皮膚状態の観察を行ない、症状の悪化防止に努めた。必要に応じて爪切りや軟膏塗布、湿布貼付、点眼等施行し、利用者に快適に過ごしていただけるよう努めた。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	60	61	55	65	61	63	44	52	55	62	43	56	677
軟膏塗布	191	182	182	216	170	166	210	203	238	301	203	335	2,597
点眼	101	113	95	86	88	87	86	90	115	77	60	71	1,069
内服薬	184	186	201	225	218	216	231	202	208	220	226	234	2,551
体重測定	52	50	51	52	51	58	58	57	55	55	58	60	657
湿布	27	52	19	13	17	17	19	22	23	22	26	34	291
合計	615	644	603	657	605	607	648	626	694	737	616	790	7,842

(10) ヒヤリハット報告



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	6
トラブル	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
体調不良	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
徘徊	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
車の物損	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4
内服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・物損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員確認ミス	1	1	1	1	0	0	3	1	5	4	2	5	24
苦情	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	2	5	3	2	4	3	5	4	3	7	41

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

今年度は、感染症対策として外出自粛もあり、近隣の行事等に参加できず地域の方々との交流を図ることができなかった。

(12) 実習生・ボランティア受入

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実習生やボランティアの受け入れはしなかった。

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	令和元年度			令和2年度		
	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）	登録者数（名）	新規利用者（名）	利用終了者（名）
4月	61	5	6	66	2	1
5月	59	3	2	67	2	7
6月	59	0	1	60	0	4
7月	59	5	2	59	2	2
8月	61	1	2	59	3	4
9月	60	1	1	60	4	0
10月	60	1	1	61	3	2
11月	60	0	1	62	2	2
12月	60	3	2	62	1	1
1月	68	9	1	63	3	1
2月	68	0	2	64	1	1
3月	68	2	3	65	2	0
合計	743	30	24	748	25	25

(2) 介護度別利用者

	令和元年度 (令和2年3月31日現在)		令和2年度 (令和3年3月31日現在)		前年度比	
	実人数（名）	構成比（%）	実人数（名）	構成比（%）	実人数（名）	構成比（%）
要介護度						
支1	3	5.4	1	1.6	△2	△3.8
支2	3	5.4	4	6.6	1	1.2
1	10	17.9	12	19.7	2	1.8
2	27	48.2	25	41.0	△2	△7.2
3	7	12.5	10	16.4	3	3.9
4	5	8.9	7	11.5	2	2.6
5	1	1.7	2	3.2	1	1.5
介護保険外	0	0.0	0	0.0	-	-
計	56	100	61	100	5	0

(3) 利用者年齢構成

年齢（歳）	令和元年度（名） （令和2年3月31日現在）		令和2年度（名） （令和3年3月31日現在）		前年度比（名）	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	1	0	0	－	△1
65～69	0	0	0	2	－	2
70～74	0	1	0	1	－	0
75～79	4	3	3	2	△1	△1
80～84	4	5	4	9	0	4
85～89	2	19	4	14	2	△5
90～	2	21	2	22	0	1
男女別合計	12	50	13	50	1	0
男女比（%）	19.4	80.6	20.6	79.4	1.2	△1.2
合計	62		63		1	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和3年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	9	大畑	5	中貫	6
本郷	1	上坂田	1	小山崎	2
板谷	2	並木	7	中央	1
高岡	10	常名	1	市外	1
小高	1	神立東	1	合計	63
下坂田	3	永井	4		
栗野	1	真鍋	3		
大志戸	1	沢辺	3		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	1
二中地区	12
三中地区	0
四中地区	0
五中地区	1
六中地区	0
都和中地区	10
新治中地区	38
市外	1
合計	63

土浦市在宅介護支援センター憩いの里
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（新治地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	30	(2) 緊急通報	3	(3) 配食サービス	8

特別業務合計は今年度は41件と前年度より5件増加した。台帳作成は3件増加。地域ケアコーディネーターや地域包括支援センター、民生委員からの情報提供、同行訪問等もあり、新規の台帳作成に繋げることが出来た。緊急通報システムは2件減少したが、配食サービスに関しては5件増加した。買い物や調理が困難な高齢者の増加が考えられる。

2. 相談

（方法×続柄集計）

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	20	17	14	21	12	29	25	1	139
	来所	0	0	2	1	3	0	4	0	10
	訪問	49	31	9	11	5	19	25	0	149
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合 計		69	48	25	33	20	48	54	1	298

今年度の相談数合計は298件と前年度より44件減少した。、電話相談の件数は変わらなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、来所や訪問といった対面する相談件数に減少がみられた。相談者については、本人、家族からの件数は減少したが、民生委員、事業所等の件数に増加がみられた。地域と連携強化をしつつ、本人の意思表示なき顕在化しているニーズに対してアウトリーチの実践に努めたい。

（相談区分×続柄集計）

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援	61	45	15	7	12	46	53	0	239
(2)介護保険制度	46	34	3	9	11	28	19	0	150
(3)福祉サービス	54	31	22	24	8	27	31	0	197
(4)保健・医療	3	11	0	1	1	2	7	0	25
(5)経済・住まい	10	0	5	0	0	15	7	0	37
(6)地域の困りごと	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(7)その他	30	19	13	2	7	26	18	0	115
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10)ケアマネ支援	1	1	0	0	0	0	1	0	3
(11)認知症関係	2	1	1	0	0	1	4	0	9
合計	207	142	59	43	39	145	140	0	775

今年度は775件と昨年度より69件増加した。特に、民生委員、事業所の相談件数が増加した。地域との連携がより図られてきたように考えられる。一方で本人からの相談件数が減少している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響も大きいだろうが、在宅介護支援センターの認知度の低さもあると考えられる。高齢者の身近な相談窓口としての機能を発揮できるよう、民生委員児童委員定例会等で在宅介護支援センターの役割についての啓発活動を行い、地域住民への認知度を高めて行くことに繋げていきたい。

相談内容に関しては(1) 家族の支援、(2) 介護保険制度、(5) 経済・住まいの項目に特に増加がみられた。大幅な減少がみられたのは(7) その他の項目であるが、見守り訪問が難しかったことも影響していると考えられる。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1) ふれあい調整会議	3
(2) スクラムネット	5
(3) その他	12
合計	20

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、定期的な開催とはならず、在支連絡調整会議は書面での情報共有となった。また、民生委員児童委員定例会の開催も減った為、個々に連絡を取ることで、地域との連携、情報共有に努めた。

4. 動向と考察

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、行事等が中止となり、地域と交流を図る機会を持つことができなかった。また、訪問に関しても感染対策をした上で行っていたが、積極的に高齢者宅に出向くことに躊躇し、電話相談での対応も多かった。電話相談は、顔が見えない分、お互いに話が伝わっているのか、また、現状把握について難しい部分もあった。一方で、民生委員や居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等からの電話相談が僅かながら増加したことで、訪問活動に繋げることもできた。

来年度は、感染対策の徹底をしたうえで、民生委員や社協、地域包括支援センター等との連携を強化して訪問回数を増やし、地域の高齢者の現状把握に努めるとともに、「在宅介護支援センター憩いの里」が身近な相談窓口として機能出来るよう、広報活動にも力を入れていきたい。

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員 2 名（兼務を含む）で運営実施。居宅・在支会議を毎月 1 回実施し、地域課題の情報共有を図るとともに、各自の報告・連絡・相談を行った。また困難ケースは事業所全体で考え、関連事業所、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携して支援を行った。利用者の予後予測を行いながら、安心して在宅生活が送れるように一人一人に寄り添った支援活動に努めた。

2. 居宅介護サービス計画実施状況（要介護度別分類）

<介護プラン>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	40	44	40	42	46	42	47	48	49	50	50	48	546
市外	0	0	0	2	1	1	1	1	1	2	3	5	17
県外	0	0	0	2	2	3	6	5	5	7	7	6	43
計	40	44	40	46	49	46	54	54	55	59	60	59	606

月平均 50 件。2 名体制になり総件数が増加となった。地域包括支援センターからの紹介が多かったが、施設近隣から直接相談や担当依頼の連絡が増えている。近隣だからという理由のほかに、「ホームページや評判を聞いて連絡した」という理由も聞かれるようになり、選ばれる事業所となってきたように感じる。また住宅型有料老人ホーム入居者の担当依頼があり、市外・県外の保険者が増加となった。

<介護予防プラン（地域包括支援センター委託）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	1	1	1	3	3	2	5	6	5	5	4	5	41
市外	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	2	2	1	3	3	2	5	6	5	5	4	5	43

4、5 月は市外の方 1 名を担当した。月平均 3.5 件となり、地域包括支援センターや病院のソーシャルワーカーからの紹介、家族からの依頼で件数が増加した。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

介護度 件数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
令和元年度	0	18	157	146	30	32	8	391
令和 2 年度	11	32	264	156	86	53	47	649

要支援 1 から要支援 5 を担当。最も多いのが、要介護 1 の利用者となっている。ケアマネ人員数の増加等から前年度と比較し 258 件の増となっている。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	4	5	4	4	3	2	2	0	3	6	2	0	35

認定調査の件数は、土浦市内（35件）実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、家族や関係者から事前の聞き取り調査を行うなど、短時間でも適切な調査を実施出来るように配慮した。

4. 新型コロナウイルス感染症予防対策

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、例年にも増して感染拡大の予防に努めた。緊急事態宣言下においては、不要不急外出を控えたのはもちろん、日常的にも手洗いうがいの励行、消毒液の携帯、訪問時間の短縮など、感染予防の徹底を図った。

5. 研修

6月	茨城県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員更新研修（2回）
10月	在宅医療×土浦連携@つちう Labo
12月	筑波大学附属病院 若年性認知症 オンライン研修会
12月、3月	祥風会スキルアップ研修（3回）
2月	茨城県老人福祉施設協議会 施設長・管理者研修会 研修動画視聴
	社会福祉士実習指導者研修（2回）
3月	県介護支援専門員協会土浦・かすみがうら地区会 多職種交流会（zoom）
	土浦市在宅医療・介護連携拠点事業市民講演会
	令和3年度介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業所説明会（zoom）

令和2年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

デイサービス
土浦市ふれあいセンター

ながみね

理事長 羽鳥 圭一
管理者 沼尻 知士

〒300-0849 土浦市中村西根2078-1
TEL 029-830-5610
FAX 029-830-5611
URL <http://showfukai.com>
E-Mail nagamine@showfukai.com

飛羽ノ園デイサービスながみね
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

土浦市公設のデイサービスとして運営をしてきたが、土浦市議会の決定により今年度をもって公設デイサービスの廃止が決定したため最後の一年となった。

「自助・互助・共助・公助」の重点目標は継続し、ご利用者様及びご家族様に安心・安全なサービスの提供できるよう心がけるとともに、デイサービス終了後も各利用者様が安心した生活を継続できるようご家族や担当ケアマネジャーと連携し、全利用者様のサービスの移行先を決定することができた。

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、できる限りご不便をおかけしないようにサービス提供を行ってきたが、幸いにもご利用者様を始め、ご家族様及び職員に感染者が出ることなく営業を終了することができた。

2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)		26	27	25	27	26	26	27	25	16				225
実人数(名)		37	36	34	34	32	32	25	19	16				265
延人数(名)		333	315	272	295	283	292	196	141	87				2,214
令和	平均利用者数(名)	12.7	12.7	13.5	13.3	13.1	13.1	13.5	13.1	13.1	12.8	13.1	12.6	13.0
元年度	稼働率(%)	50.7	50.8	54.0	53.2	52.4	52.3	54.1	52.3	52.5	51.2	52.5	50.3	52.2
令和	平均利用者数(名)	12.8	11.7	10.9	10.9	10.9	11.2	7.3	5.6	5.4				9.6
2年度	稼働率(%)	51.2	46.6	43.5	43.7	43.5	44.9	29.0	22.3	21.7				38.5
稼働率(%) 前年度比		+0.5	△4.2	△10.5	△9.5	△8.9	△7.4	△25.1	△30.0	△30.8				△13.7

(2) 年間利用状況の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延利用者数(名)	6,097	5,415	5,242	4,064	4,454
稼働率(%)	78.8	70.4	68.8	52.8	57.9
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数(名)	4,646	3,701	4,103	3,993	2,214
稼働率(%)	60.3	48.0	53.2	52.1	38.5

(3) 介護度別利用状況（令和2年12月31日時点）

要介護度	令和元年度		令和2年度		前年度比	
	延人数	構成比	延人数	構成比	延人数	構成比
支1	329	8.24	172	7.77	△157	△0.47
支2	324	8.11	76	3.43	△248	△4.68
介護1	1353	33.88	696	31.44	△657	△2.44
介護2	975	24.42	839	37.90	△136	+13.48
介護3	524	13.12	209	9.44	△315	△3.68
介護4	432	10.82	169	7.63	△263	△3.19
介護5	56	1.4	53	2.39	△3	+0.99
介護保険外	0	0	0	0	0	0
計	3,993	100	2,214	100	△1,779	0

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

昨年度から行っている実績報告モニタリング表を今年度も継続し、ケアマネジャーへの情報提供をしっかりと行う事ができた。

今年度を最後に閉鎖となったため、各利用者及び家族に引き続き安心した生活が継続できるよう各担当ケアマネジャーと協力し、希望に沿った移行先の決定と情報提供を行った。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者の状態変化に注意し、常に最適な通所介護（予防）計画を立て、サービスが提供できるよう努めた。計画の見直しや更新については、前述のモニタリング表が役立った。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

各利用者の身体状況、残存機能、本人の意向をもとに、看護師と連携し、安全に入浴ができるように努めた。入浴を主目的で利用されている方については、入浴を中心に一日の過ごし方を組み立て、清潔保持を優先的に行うなど対応した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数（名）		333	315	272	295	283	292	196	141	87				2,214
入浴延人数（名）		244	235	194	210	194	204	125	92	55				1,553
入浴率 （%）	令和元年度	74.1	73.8	73.5	73.7	74.9	74.3	73.1	74.7	73.7	73.0	73.8	74.9	74.0
	令和2年度	73.3	74.6	71.3	71.8	68.6	69.9	63.8	65.2	63.2				69.1
前年度比（%）		△0.8	0.8	△2.2	△1.9	△6.3	△4.4	△9.3	△9.5	△10.5				△4.9

(4) 食事サービス

一人ひとりの嗜好や栄養状態、身体状況にあった食事の提供に努めた。また、季節感にも配慮し、変化に富んだメニュー作りを通して利用者に喜ばれる食事を提供することができた。また、選択食やおやつ教室の実施により、選ぶ楽しみや作る楽しみを感じてもらえる機会を提供することができた。

①栄養所要量

	栄養所要量								
	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン B1	ビタミン B2	ビタミン C	食塩
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(mg)	(g)
4月	665	25.5	17.3	172	4.1	0.39	0.44	53	1.70
5月	670	27.1	17.6	180	4.5	0.37	0.42	49	1.77
6月	685	28.1	18.3	185	4.6	0.40	0.39	53	1.73
7月	681	27.5	17.3	179	4.2	0.39	0.37	45	1.69
8月	668	26.1	16.8	168	3.8	0.38	0.37	44	1.69
9月	675	27.3	17.4	177	4.1	0.42	0.41	41	1.57
10月	659	25.2	15.5	160	3.5	0.36	0.39	44	1.70
11月	698	28.2	18.3	182	4.6	0.45	0.43	42	1.69
12月	677	27.4	17.5	176	4.2	0.44	0.41	52	1.82
平均	675	26.8	17.3	175	4.1	0.40	0.40	47	1.71

②食事提供状況

(i) 食数

令和2年度			
デイ利用者	2,158	職員	689
お弁当	359		
合 計			3,206

(ii) 毎食事の検食実施（検食簿記入）

利用者の視点で、主食・副食の分量や味付け、加熱状況などが適切となっているか他業種の職員がチェックすることで調理法など、より良い提供ができるよう努めた。

③選択食

日時	選択食A	選択食B
R2年4月	ロールキャベツ	タラのカレー風味マリネ
R2年5月	中華丼	牛丼
R2年6月	野菜たっぷり豚しゃぶ	揚げタラの薬味ソースかけ
R2年7月	蒸し鶏のごまだれ	茄子の挟み揚げ
R2年8月	アジの蒲焼風	豚肉のいんげん巻き
R2年9月	豚丼	かき揚げ丼
R2年10月	鶏肉ときのこのホイル焼き	ブリの梅おろし煮
R2年11月	すき焼き風煮	鮭のホイル焼き

R2年12月	カキフライ	蓮根ハンバーグ
--------	-------	---------

④行事食

	誕生会	その他	おやつ教室
4月	ちらし寿司／赤飯		豆乳くずもち
5月	赤飯		
6月	赤飯		
7月	鮭の混ぜ寿司		
8月	赤飯／ちらし寿司	夏祭り	
9月	赤飯		
10月	赤飯		
11月	ちらし寿司		
12月		クリスマス会／餅つき	

⑤衛生管理

- ・検便：毎月実施（新規採用者は入職前に必ず検査する）
- ・食品の中心温度の測定の実施（測定結果は給食日誌に記入）
- ・原材料及び検食の冷凍保存の実施（14日間）
- ・害虫駆除の実施状況の確認（年4回実施）
- ・厨房内の定期的な清掃の実施（自己衛生管理表に記入）
- ・包丁、まな板、調理台、水槽の使い分けの徹底、時間、温度の管理
- ・自主点検表による白衣、爪、指輪、マニキュアの有無、手指の傷の有無、下痢、腹痛等の体調不良のチェック
- ・食材の定期的な放射性物質測定を毎月実施
- ・厨房外下水清掃を毎月実施

⑥売り上げ・食材仕入れ額

地元の野菜を安く仕入れ、冷凍品や加工品が値上がりするなか、新鮮で安い地元の食材をうまく活用した。

⑦嗜好調査の実施

介護職員・看護職員と連携し、利用者からの要望を聞き取り、食事の様子を厨房職員も一緒に観察することで嗜好を把握した

(5) 排泄介助サービス（定時・随時）

利用者ごとに排尿ペースを測り、各時間に声掛けを行いトイレ誘導を行った。失禁自体は減少したがゼロにはならず、失禁後の対応について各職員の対応に差が開いてしまっていた。基本的な技術指導を見直しつつ対応に努めていく。

(6) レクリエーション・行事

今年度は、コロナウイルスの影響もあり外出行事、及び外部参加型の行事を行えず、園内にて行える形式にて来園者のレク・行事がマンネリ化しないよう努めてきた。夏祭りでは園内にて、焼きそばやかき氷を行いそのまま利用者に提供、外部からの参加者は無しにて行いつつも、お祭りの雰囲気味わっていただくために音楽をかけて対応した。また利用者主体参加型のカラオケ大会を行うなど今までとは少し違った形式で行い、敬老会では利用者自ら頂く紅白饅頭を職員と共に作成するといった形式をとり対応した。いずれの行事も利用者からは喜びの声が聞かれており、その他クリスマス会なども利用者の参加をメインとした行事が行えた。日常のレクリエーションに関しては利用者同士の接触の禁止もありスクリーンを使用した動画上映や、画像・動画を使用した回想法をメインとして行ってきた。最初のうちは利用者、及び職員のほうも不慣れな部分がありスムーズに行われなことが見受けられたが、回数を重ねるにつれて利用者からの返答も多く聞かれるようになった。

【レクリエーション・行事参加状況（実施回数もしくは参加人数）】

レクリエーション・行事名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作レク	42	97	91	132	116	115	94	58	47				792
おやつ教室	1	0	0	0	0	6	0	0	2				9
合計	43	97	91	132	116	121	94	58	49				801

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（予防）サービス

加算算定は行なっていないがそれぞれの残存機能に応じた日常生活動作等のリハビリを実施した。四肢の運動機能低下による転倒防止、平行棒を利用した歩行訓練階段昇降での運動機能向上に努めた。個別リハでは、理学療法士による個別プログラムを作成して身体能力に合わせたものを実施した。毎日、食前の口腔体操やカラオケによる心肺機能の維持向上にも努めた。毎月1回の個別機能訓練計画モニタリングを実施している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	0	1	2	1	5	4	4	4	2				23
運動器機能（名）	27	26	27	25	24	25	20	13	10				197
合計	27	27	29	26	29	29	24	17	12				220

(8) 送迎サービス

【送迎状況】

前年に引き続き事故防止と個々に合わせたルートや時間の調整等、利用者や家族の要望に応えられるよう努めた。しかし送迎による苦情が何件か聞かれており車の接触事故も見られた。安全安心は勿論の事、利用者が快適に乗車できるように送迎技術の向上、車内での会話等の充実を図る。

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	318 (15)	303 (12)	257 (15)	281 (14)	271 (12)	278 (14)	185 (11)	136 (5)	87 (0)				2,116 (98)
送り (減算)	317 (16)	298 (16)	254 (18)	275 (20)	268 (15)	268 (24)	186 (10)	137 (4)	87 (0)				2,090 (123)
延回数 (減算)	635 (31)	601 (28)	511 (33)	556 (34)	539 (27)	546 (38)	371 (21)	273 (9)	174 (0)				4,206 (221)

【送迎車両走行距離】*外出行事使用（走行）分を含む。他事業所使用（走行）分を除く。

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	48	155	44	0	31	72	92	23	0				465
VOXY	757	844	811	570	569	634	271	268	333				5,057
MPV	526	402	461	568	680	654	576	446	430				4,743
セレナ	627	497	521	617	460	439	391	216	18				3,786
ムーブ	779	728	568	788	736	811	784	735	346				6,275
ワゴンR	466	278	298	384	433	372	144	125	55				2,555
合計	3,203	2,904	2,703	2,927	2,909	2,982	2,258	1,813	1,182				22,881

(9) 看護報告（処置集計報告）

利用者本人との会話を通しての体調確認やバイタルチェックをすることで個々の体調を把握し、負担にならないようにサービスを提供できた。利用者の状態、状況に応じて軟膏塗布・湿布貼付・点眼・内服薬の管理を行った。爪切りや耳かきも本人・家族では行えない方や希望される方に実施した。口腔ケアに対しては来所時と食後に実施し清潔保持・感染予防・誤嚥による肺炎予防に努めた。突然の体調不良時などは家族・ケアマネジャーに連絡し迅速な対応ができた。長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を定期的実施し、記憶を中心とした認知機能障害の有無をとらえる事や、毎月1回、全利用者の体重測定を行い、家族やケアマネジャーへの報告を行なっている。

【処置集計】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	17	19	18	16	18	13	8	6	3				118
軟膏塗布	39	38	40	47	54	49	35	24	19				345
点眼	25	29	29	34	30	29	20	10	9				215
内服薬	105	107	112	101	111	115	102	63	43				859
体重測定	35	40	37	42	40	39	25	12	6				276
合計	221	233	236	240	253	245	190	115	80				1,813

(10) ヒヤリハット報告

【令和元年度 アクシデント・インシデント・トラブル報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落・外傷	0	0	0	4	1	2	4	0	0				11
徘徊・異食	0	1	0	0	0	0	0	0	0				1
利用者急変・利用者自身	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
車両の物損・スピード・接触	0	2	0	0	0	1	1	0	0				4
送迎時間・利用日間違い	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
薬関係	0	1	0	0	1	0	0	0	0				2
車内・車両ミス	0	0	0	0	1	1	0	0	0				2
誤った対応	0	0	0	0	0	0	1	2	0				3
合計	0	4	0	4	3	4	6	2	0				23

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

今年度はコロナウイルス対策、及び社会情勢を考慮し、外部からの受け入れや施設側からの発信は行えなかった。

(12) 実習生・ボランティア受入

上記でもあるようにコロナウイルスによる社会情勢の為、ボランティア・実習生の受け入れは行えていなかった。毎年受け入れていたこもればの会様や大正琴のボランティアも同様である。

5. 利用者状況

(1) 登録利用者

	令和元年度			令和2年度		
	登録者数	新規利用者	利用終了者	登録者数	新規利用者	利用終了者
4月	53	1	2	45	1	2
5月	53	1	0	43	0	0
6月	54	1	2	43	0	4
7月	55	3	0	40	1	1
8月	56	1	0	39	0	1
9月	55	2	3	38	0	10
10月	51	0	5	27	0	9
11月	50	1	3	19	0	3
12月	49	2	1	16	0	16
1月	49	1	2			
2月	45	2	2			
3月	46	1	0			
合計	616	16	20	310	2	46

(2) 介護度別登録利用者

要介護度	令和元年度 (令和2年3月31日現在)		令和2年度 (令和2年12月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)
支1	2	4.9	0	0	-2	△4.9
支2	2	4.9	0	0	-2	△4.9
1	14	34.1	6	37.5	-8	+3.3
2	13	31.7	8	50	-5	+18.3
3	4	9.8	1	6.25	-3	△3.55
4	6	14.6	1	6.25	-5	△8.35
5	0	0	0	0	0	0
介護保険外	0	0	0	0	0	0
計	41	100	16	100	△25	0

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	令和元年度 (令和2年3月31日現在)		令和2年度 (令和2年12月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	0	0	0	0
65～69	0	0	0	0	0	0
70～74	0	1	0	0	0	△1
75～79	3	1	2	0	△1	△1
80～84	5	7	0	4	△5	△3
85～89	6	9	1	3	△5	△6
90～	3	10	2	4	△1	△6
男女別合計	17	28	5	11	△12	△17
男女比	38%	62%	31%	69%	△7%	+7%

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和2年12月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
中	0	霞ヶ岡	0	板谷	1
中村南	2	永国東	1	うずら野	1
乙戸	3	中村東	0	並木（つくば）	1
烏山	0	中村南	0	下広岡（つくば）	1
西根南	0	中村西根	1	ひたち野東（牛久）	1
荒川沖西	0	北荒川沖	1	松代（つくば）	1
小松	0	摩利山新田	0		
荒川沖	0	天川	0		
下高津	0	中央	0		
上高津	0	荒川沖西	1		
中高津	1	荒川沖東	0	合計	16

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	0
二中地区	0
三中地区	8
四中地区	2
五中地区	0
六中地区	0
都和中地区	1
並木中地区	2
朝日中地区	1
その他	2
合計	16

土浦市ふれあいセンターながみね 土浦市指定管理者受託事業

1. 運営

土浦市唯一の「ふれあいセンター（～子どもから高齢者まで幅広い年齢層が利用できる複合的福祉施設～）」としてその役割である幅広い年齢層の世代間交流、また利用者の健康増進や文化的交流促進のため、地域・市民及び各種団体等との連携を図りながら市民の福祉の向上に資するための運営に努めた。

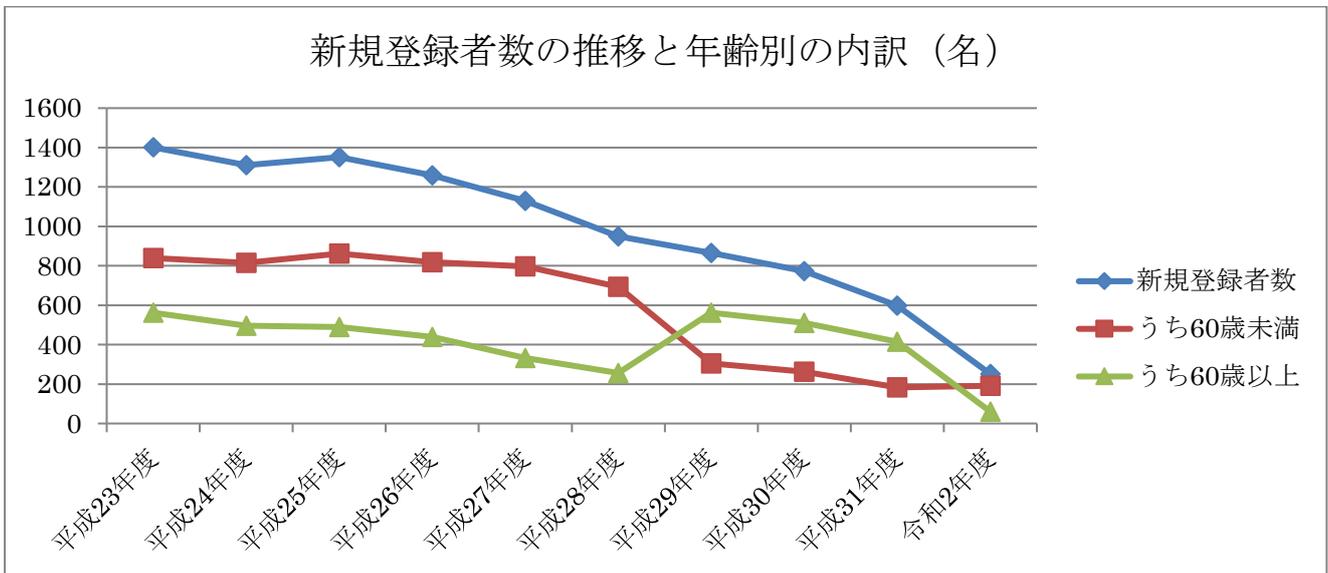
しかしながら、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種設備の利用制限や時短営業、長期に渡る休館など、ご利用いただいている皆様には大変なご不便とご迷惑をおかけする形となった。

- (1) 市民の福祉の増進を図るとともに世代間交流を支援し、広く福祉の向上に資することを目的とした管理運営を行った。
- (2) 施設の適切な維持管理及び効率的な運営に努めた。
- (3) 業務にあたっては、関連する法規を遵守した。
- (4) 利用者に対するサービス提供に努力し、利用の促進を図った。
- (5) 土浦市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底した。

2. 事業報告

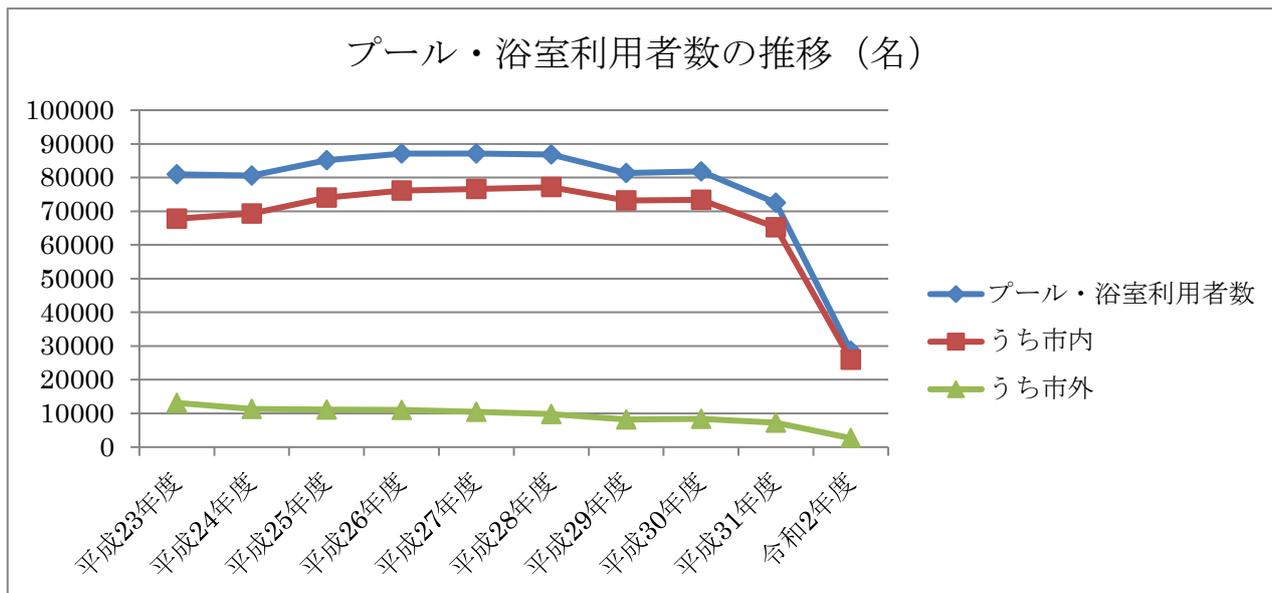
(1) 施設の運営

①市内利用者登録証の発行、プール・浴室、各部屋の利用状況



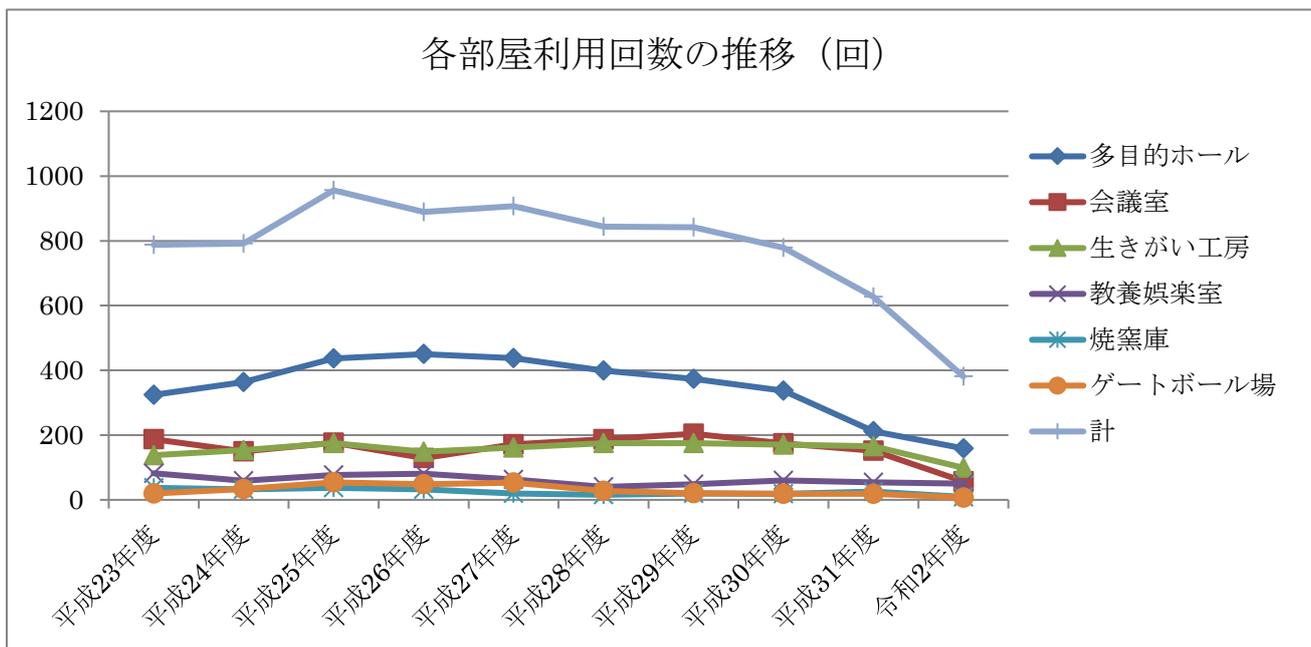
登録者延人数は13,582名(令和3年3月31日現在)、今年度の新規登録者数は252名、前年度の42.0%と減少となった。新規登録者に関しては、3年続いた「60歳未満の登録者よりも60歳以上の登録者が多くなる逆転現象」は起こらず、60歳未満の新規登録者が多くなった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間がおおよそ5か月程度あったことや、時短営業期間、通常営業期間でも利用人数の制限などもあり、お客様には安心してご来館頂けるような雰囲気ではなかったことが主な原因と考える。



施設のメインであるプール・浴室においては利用延人数 28,559 名（内減免・無料利用者数は 4,603 名）で、前年度の約 39.4%（減免・無料利用者数は前年度の 46.0%）と大幅な減少となった。

こちらについても新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館、時短営業、利用制限等々が主な原因と考える。



各部屋利用回数合計は 355 回、前年度から減少となっている。唯一の有料スペース（減免・無料もあり）である多目的ホールの利用回数合計も 159 回となり、大幅に減少した。

その他、会議室、趣味室、教養娯楽室、生きがい工房、ゲートボール場や焼き窯庫の利用件数は大幅に減少した。こちらについても新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館、時短営業、利用制限等々が主な原因と考える。

②福祉の増進及び世代間交流促進に寄与する事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催していた併設デイサービスと合同での夏祭りやもちつき大会、近隣の大型ショッピングモールでのキャンペーン活動は全て中止となった。また利用制限や時短営業などの影響で暗くならないよう館内の装飾に力を入れ、季節感のある雰囲気づくりに努めた。

③浴槽・プール等の水質管理

センターの主設備である浴槽・プールは運営上重要な位置づけであり、利用者の方が多く利用する設備である。レジオネラ属菌の検査を基準以上の回数で実施する等、水質の管理・清掃の徹底をすることで利用者が安全に利用できる施設として衛生管理に努めた。

○7/27 浴槽・15m プール・ワールプール配管洗浄

④センターの活性化対策（新しい取組など）

中庭の花壇整備やイルミネーションは変わらず好評であった。また、施設内外の環境整備も力を入れ、障害者優先駐車スペースの看板付きプランターカバーの設置や利用者に参加して頂く新型コロナウイルス感染症終息祈願の七夕飾りなども行った。更に昨年に引き続き「フォトコンテスト」を開催し、市内外から沢山の応募を頂けた。

○9/20 敬老の日（市内在住 60 歳以上の方に無料利用券配布） 115 枚配布

○フォトコンテスト

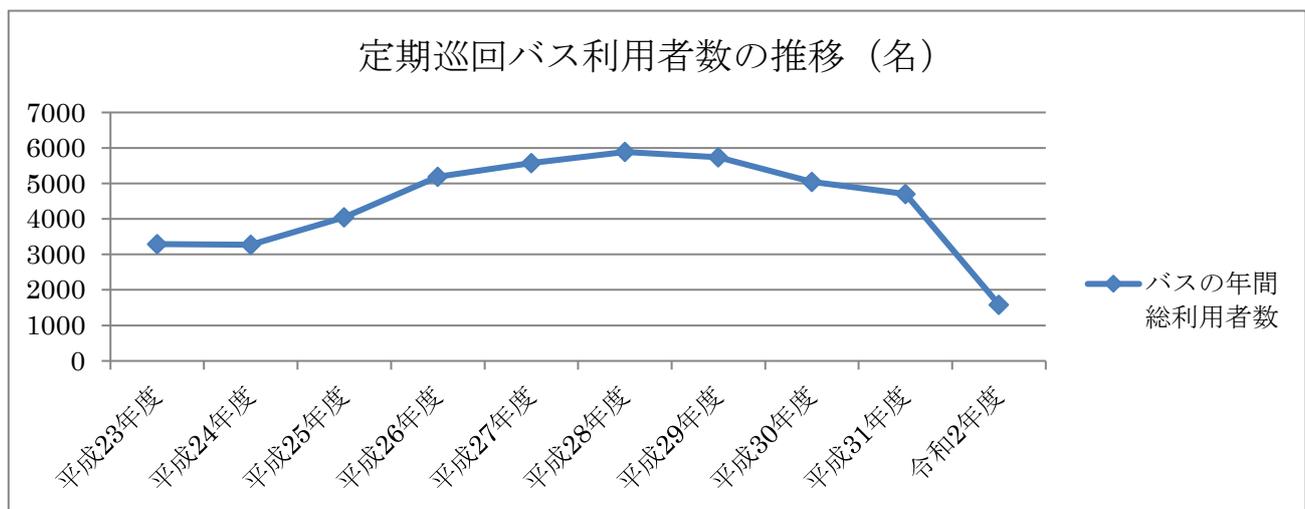
○11/1 イルミネーション点灯開始（～R2.12.28）

⑤運営における安全確保

昨年設置した駐車場及び駐輪場の LED ライトのおかげで犯罪の抑止ができていると考える。不特定多数の方が利用する公共施設であるため、犯罪抑止効果、また職員が安心して働ける環境という点をより改善していかなければならない。また、営業時間中は定期巡回、営業時間外は自動警備を行い、防犯・防火に努めた。

⑥バスによる団体送迎・定期送迎の実施

* 乙戸地区ルート：（日）（水）（金） * 中村地区ルート：（火）（木）（土）



バスの利用者数についても 1,585 名と大幅な減少となった。こちらについても新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館、時短営業、利用制限等々が主な原因と考える。

⑦その他センターの管理運営に必要な業務

○他施設との連携

定期的に他福祉センターとの会議を行うことによりお互いの問題を共通の課題として認識することができた。

* 老人福祉センター・ふれあいセンター長会議（4/22・7/14・10/14・1/13）

○委託業者との連携

機械設備、プール・浴室管理、清掃の業務委託を一括して（株）ビートに委託している。日常的な報告・連絡・相談はもちろんであるが月1回（第4木曜日）の定期会議を実施し、情報・課題の共有と問題解決を通して連携の強化を図ることができた。

* CPR講習実施については毎年3月に行っているが、新型コロナウイルス感染症防止のため延期となっている。尚、実施時期については未定。

○経費削減の実施

運用にかかる水光熱費は支出全体の1/3あまりを占めている。継続して経費削減案を実行し、利用者の不便とならない範囲で支出の見直しに努めた。

(2) 施設及び設備等の維持管理

委託業者と連携を図り、運営に支障がないよう設備機器について日常的点検・清掃を行い、安全かつ快適に利用できる環境作りに努めた。開館から17年経過しているということもあり、設備の老朽化・消耗等による修理・修繕も多々あった。緊急対応を要する場合には迅速に土浦市に連絡・指示・協力を仰ぐことにより、大事に至らず運営を続けることができた。

①建物の維持管理

- 9/14 給湯管水漏れ修繕
- 9/28 及び 10/26 温水ヘッダー修繕
- 10/9 男子浴室ドア修繕
- 11/7 配管破裂の修繕
- 12/4 ポンプ交換工事
- 12/8 温水ポンプ交換
- 1/28 空調室外機の温度センサー交換

②消防設備保守点検

- 7/27 消防機器点検
- 1/25 消防設備点検

③電気設備

- 毎月 電気工作物点検
- 2/25 自家用電気工作物年次点検（全館停電）

④給排水設備

- 8/26 貯水槽・貯湯槽清掃及び点検

⑤機械日常管理業務委託

⑥地下燃料タンクの保守管理

○12/11 重油地下タンク漏洩検査・点検

(3) その他施設の運営に関わる維持管理

①防火管理

○消防法に基づく点検（消防機器点検・自衛消防訓練・消防設備点検）

○8/24 防火扉点検

○1/4 煤煙検査

②運動プール及び浴室等の衛生管理

○定期清掃（毎月第4月曜日）：年計7回（新型コロナウイルス感染症による休館期間は実施せず）

○水質検査（毎月第4火曜日）：年計7回（新型コロナウイルス感染症による休館期間は実施せず）

③センター内の保安警備

○開館時間内：職員による定時巡回・目視による確認。

○開館時間外：24時間体制での機械（警備保障会社）による監視。

④施設清掃業務

○日常清掃業務に加え、専門業者委託により床・カーペット・脱衣室・エアコンフィルター等の清掃を実施した。

○害虫駆除

⑤廃棄物処理

○廃棄物搬出：毎週水・土曜日（清掃センターへ）

⑥緑地の維持管理

○季節に応じた維持管理をすることで気持ちの良い環境整備に努めた。

⑦緊急時の対応

○入浴中やプール遊泳中の体調悪化を防止するために注意喚起や巡視の徹底を行った。緊急時は一体となって利用者の生命を第一に対応し、特に併設デイサービス開館中は看護職員との連携を重視した。

⑧防犯・防災対策

○防犯・防災・緊急時の対応マニュアルを整備。また、併設デイサービスとの合同避難訓練を年2回、同一法人事業所である特別養護老人ホームの夜間避難訓練にも参加した。

(4) センターの管理運営

①プール・浴室の管理運営

○監視職員は外部委託を行うが施設の運営上、プール・浴室の管理は重要な位置づけであることをそれぞれに理解し、訪れた方が繰り返し利用したいと思う施設になるよう努めた。

②送迎バス運転の管理運営

○送迎バスの運行で大きな事故もなく定期送迎・団体送迎を実施できた。

(5) センターの各種報告・調査及び統計資料の作成

○毎月10日に月報（実績）を土浦市へ報告。

○令和2年度年報を作成し、土浦市へ提出。

3. 自主事業

(1) 講座の開催

○委託業者である（株）ビートと共同で講座を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のためプール設備が使用できない期間があったものの、感染症対策の徹底と利用者の協力を得ながら、多くの方に参加頂けた。

【講座開催回数（回）・参加延人数（名）】

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	
水中W						3	5	4						12
						15	25	17						57
水中W (初心者)						3	5	4						12
						43	75	60						178
水中W プラス						3	5	4						12
						41	76	61						178
書道教室 (A)						2	2	2						6
						18	18	18						54
書道教室 (B)						2	2	2						6
						19	20	21						60
英会話 教室 (A)						3	4	4						11
						18	20	19						57
英会話 教室 (B)						3	4	4						11
						17	16	18						51
英会話 教室 (C)						3	4	4						11
						12	16	16						44
幼児 英会話教室						3	4	4						11
						6	8	8						22
体力 アップ編						3	4	4						11
						60	75	61						196
かんたん ストレッチ体操						3	4	4						11
						12	20	20						52
美ユウティ ボディ						3	4	4						11
						54	65	62						181
アクア ZUNBA						3	5	4						12
						36	60	48						144
ケーナ 教室						2	2	2						6
						34	34	29						97

合計(回)						39	54	50					143
合計(人)						385	528	458					1,371

(2) デイサービスとの連携

デイサービスとの一体運営ということで特にデイサービス看護師との連携によって、体調不良者（湯あたり等）への対応を迅速かつ適切に行うことができた。

令和2年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

桜川保育園

理事長 羽鳥 圭一
施設長 宇都野 和司

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号
TEL 029-821-8341
FAX 029-823-0390
URL <http://showfukai.com>
E-Mail sakuragawa@showfukai.com

桜川保育園

【1】運営（運営方針に対する報告）

開園初年度となった令和2年度は、事業計画の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」に沿って、試行錯誤を繰り返しながら保育園運営に努め、概ねそれぞれの方針、理念、目標どおりに推進することができた。一方で、新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、関係機関等との連携を図ることができなかった。

また、当園は公立保育所からの移管であったため、保護者から「公立保育所と同等の保育の継続」という要望があり、保育の内容を継続しながら少しずつ新しいことも取り込むための創意工夫を常に行いながら保育業務等を遂行した。

特に変わったのは、「ICTシステム」の導入により、登降園管理や連絡、記録等に費やす時間が短縮され、仕事の効率化と時間の有効活用ができるようになったことが保護者や職員にたいへん好評であったことや英語を公用語とする職員を採用したことにより、日常的に英語に触れる機会を設けたことも保護者に好印象を与えた。これらの新しいことを取り入れたことで、公立から民営化となった保育園に対し、保護者が当初抱いていた不安や戸惑いも徐々に払拭され、信頼関係を築くことができた。

年度を通して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の保育活動ができずに苦慮した一年であったが、感染予防は持ち込まない事を徹底し体温チェック、手指の消毒、密を避けることに注意しながら、子どもたちには、保育園の中だけでもたくさん経験を積ませ、工夫を凝らしながらの様々な行事に参加させるなど、安心、安全を第一に考えたな保育園運営をすることができた。

【2】重点目標に対する成果

（1）子どもの日常生活を丁寧に見て情緒の安定を図り、基本的な生活習慣を体得させる

概ね遂行できたが、未満児の活動についてはもっとゆっくりとした個々の育ちに合わせていくような関りが必要であった。

（2）子どもの主体性・自主性を尊重し、のびのびと行動させる中で個々の成長・発達を支援する 個々を大切にのびのびとした保育活動は遂行できたが、自主性、主体性を考えると工夫が必要であった。

（3）保護者と保育園が協力して子育ての協働を進める

保育時間も長くなり保護者の子育て支援には十分応えられた。また、写真の提供を通して、園での様子を配信して、子どもたちの様子を見ていただくことで保育園の理解にもつながった。

（4）地域交流の場をつくり、親しみのある信頼される保育園を目指す

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より実施はできなかった。終息した際には、桜川保育園まつりをはじめ、地域施設との交流を積極的に実施していきたい。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 児童数 (単位：人)

月	ゆめ	はな	にじ	ほし	つき	そら	計
4月	4	15	17	16	10	15	77
5月	5	15	17	16	10	15	78
6月	5	15	17	16	10	15	78
7月	6	15	17	16	10	15	79
8月	6	15	16	16	10	15	78
9月	6	15	16	16	10	15	78
10月	7	15	16	16	10	15	79
11月	8	15	16	16	10	15	80
12月	8	15	16	16	10	15	80
1月	8	15	16	16	11	15	81
2月	8	15	16	16	11	15	81
3月	8	15	16	16	11	15	81

(2) 職員数 (単位：人)

月	常勤 保育士	非常勤 保育士	栄養士	管理員	調理 補助員	事務員	その他 常勤職員	その他 非常勤 職員	計
4月	13	5	1	1	3	1	1	2	27
5月	13	5	1	1	3	1	1	2	27
6月	13	5	1	1	3	1	1	3	28
7月	13	5	1	1	3	1	1	3	28
8月	13	5	1	1	3	1	1	3	28
9月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
10月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
11月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
12月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
1月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
2月	14	5	1	1	3	1	1	4	30
3月	14	5	1	1	3	1	1	4	30

(3) 職員構成 (単位: 人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R 2. 4	R 3. 3	R 2. 4	R 3. 3	R 2. 4	R 3. 3
施設長	0	0	1	1	0	0
園長	0	0	0	0	1	1
主任保育士	0	0	1	1	0	0
加配保育士	1	1	0	0	0	0
保育士 (クラスリーダー)	6	6	0	0	0	0
保育士	3	4	2	2	4	4
保育補助員	0	0	0	0	2	4
栄養士	1	1	0	0	0	0
調理師	1	1	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	2	2
管理員	1	1	0	0	0	0
事務員	0	0	0	0	1	1
計	1 3	1 4	4	4	1 0	1 2

(4) 延長保育 (単位: 人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長 合計	1時間延長 合計
4月	6	2	10月	24	3	30	5
5月	22	3	11月	13	5	35	8
6月	16	6	12月	20	4	36	10
7月	21	3	1月	13	0	34	3
8月	16	0	2月	19	3	35	3
9月	14	2	3月	34	4	48	6
合 計						218	35

※合計については、延べ人数。

(5) 一時預かり保育 (単位: 人)

月	4時間以下	4時間以上	月	4時間以下	4時間以上	4時間以下 合計	4時間以上 合計
4月	0	6	10月	1	35	1	41
5月	0	9	11月	5	24	5	33
6月	5	12	12月	1	29	6	41
7月	0	19	1月	2	22	2	41
8月	0	14	2月	5	26	5	40
9月	2	24	3月	1	28	3	52
合 計						22	248

※合計については、延べ人数。

(6) 保育内容

本園の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」、「重点目標」に沿って、年間、月間、週間計画及びデイリープログラム（日課）を作成し、職員会議やクラス会議等において、その経過観察を行うとともに必要に応じて補正、調整をしながら、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実践した。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援

親切で穏やかな日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助することができた。また、毎月「園だより」や「給食だより」を発行し、行事等の予定や活動の様子を伝えた。

(2) 保護者面談・保育参観

随時要望に応じて面談を実施する体制を整備し、子育ての悩みを共有、様々な提案をし、子育て支援ができるように取り組むことができた。

新型コロナウイルス感染症の影響で、保育参観は実施できなかったが、クラス懇談会を実施し、保護者に日々の保育活動について理解を得るとともに子どもの普段の様子を見ることで安心感を持ってもらうことができた。

(3) 外部機関との連携

発達支援や育児不安などにより専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助することができた。

(4) 地域支援活動

未就園児の異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体でよりよい子育て環境を創るよう活動し、また、小学校、高齢者施設等との交流を積極的に図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となった。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和2年5月20日、12月16日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和2年5月21日、11月19日（年2回実施）

(3) 職員健康診断 令和3年3月16日（年1回実施）

(4) 職員インフルエンザ予防接種

令和2年10月29日（年1回実施）

(5) 調理員、調乳を行う保育士検便検査

令和2年3月17日、4月23日、5月24日、5月28日、6月11日、6月25日、7月9日、7月22日、8月6日、8月20日、9月10日、9月25日、10月8日、10月22日、11月6日、11月19日、12月3日、12月17日、1月14日、令和3年1月28日、2月4日、2月18日、3月4日、3月22日（年24回実施）

※令和2年10月から令和3年3月までは、ノロウイルス検査を6回実施

(6) 感染症拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、非接触型温度計や指消毒用アルコールの購入、サーマルカメラや自動アルコール噴霧器を設置した。

- (7) 園児身体測定 令和2年4月15日、5月14日、6月16日、7月9日、8月5日、9月8日、10月8日、11月10日、12月8日、令和3年1月14日、2月26日、3月17日（年12回実施）

4. 防災安全

月	行 事 予 定
4月	【避難訓練、不審者についての講話】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の合図を確認。 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。
5月	【地震】「保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難。 ・防災頭巾の有用性を教えるとともに着用方法等の確認。
6月	【水害】「梅雨時期の長雨により、桜川の水位上昇を想定」 ・保育士の指示で身支度を整えてホールに集合し、退園体制を確認。
7月	【火災】「近隣住宅からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難。
8月	【不審者侵入】 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。 ・サスマタの使用方法。
9月	【水害】「台風発生の多い時期、豪雨による桜川の氾濫を想定」 ・保育士の指示で身支度をし、退園体制を確認。 ・保護者との連絡体制と避難場所への移動手段の確認。
10月	【火災】「調理用油の過熱により、調理室からの火災を想定」 ・通報担当者が消防署に通報し、保育士の誘導により第1避難所へ集合。状況によって第2避難所へ移動。
11月	【地震】「土曜日の保育中に震度3の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難。
12月	【火災】「乾燥時期に近隣住宅からの出火を想定」 ・通報担当者が消防署に通報し、保育士の誘導により第1避難所へ集合。状況によって第2避難所へ移動。
1月	【地震】「保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難。 ・不審者侵入時の合言葉の再確認。
2月	【火災】「近隣住宅からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難。

3月	<p>【地震】「保育中に大規模な地震発生を想定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ避難。 ・東日本大震災での教訓の確認。
----	---

※避難訓練（年12回）【通報訓練（年2回）と不審者対策（年1回）を同時に実施】

5. 給食

給食とおやつは、栄養士の献立に沿って調理士の手作りメニューとし、離乳食は一人ひとりに合わせて進めるとともに、幼児クラスでは野菜作りやクッキングで食育につなげている。また、アレルギーの子どもには、保護者と医師の連携のもとにアレルギー除去食の対応も実施している。

- (1) 1歳児、2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつの提供
- (2) 3歳児～5歳児 昼食、午後おやつの提供
- (3) 延長保育児 補食の提供
- (4) アレルギー児（宗教等家庭的事由含む） アレルギー食材の除去対応及び代替提供対応
- (5) 食育活動 カレーやクッキーづくり、野菜栽培、食材の話や食べ方指導

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	6日	入園式	・式は中止とし、自由に園内見学
		進級式	・各クラスにおいて実施
5月	28日	遠足	・近隣散歩
6月	25日	お楽しみ会	・バルーンアート・ボウリングゲーム・ヨーヨー釣り・くじ引き
7月		七夕	・七夕笹飾り
	1日	プール開き	・お清め
	21日	夕涼み会	【5歳児行事】 ・夕食のカレー材料の買い出し・野菜の皮むき・フルーチェ作り・肝試し・親子で花火
8月		プール遊び	
10月	20日	運動会ごっこ	・個人走・リレー・バルーン・大玉ころがし・玉入れ・巧技台 等
	21日	チャレンジ巧技台	【5歳児行事】 ・保護者見学
	28日	ハロウィン	・仮装
	29日	食育教室	【5歳児行事】 ・食育体験学習（株式会社カスミ）
11月	5日	親子遠足	こもれび森のイバライド 親子で参加
12月	10日	お店屋さんごっこ	・雑貨屋・ジュース屋・ハンバーガーショップ・チョコバナナ・アップルパイ・アイス・けん玉・ぴよんぴよんカエル・竹とんぼ
	23日	クリスマス会	サンタクロースと交流
1月	8日	餅つき	・5歳児が餅をつき、ならせ餅を作る
2月	2日	節分	・豆まき

	16日	生活発表会	【3歳児】 ・遊戯・劇・歌・合奏
	17日	生活発表会	【4歳児】 ・遊戯・劇・歌・合奏
	18日	生活発表会	【5歳児】 ・遊戯・ピアノ合奏・歌・発表(英会話を交える)
3月	18日	お別れ会	・発表・プレゼント交換
	26日	卒園式	・卒園児保護者2名参加とし、在園児による花道

7. 年間会議予定

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	3	2	6	2	6	6	5	3	3	3	2	4	45
クラス会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食育会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
保護者会	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
個人面談	随時	随時	随時	随時	随時	随時							

※保護者会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、役員会を1回のみ開催となり、総会での報告事項及び議決事項については書面表決とした。

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	第1回	第2回	第3回	受講者
障害児保育	9月17日	10月22日	10月29日	山本こずえ
幼児教育	9月7日	9月16日	9月26日	大塚 愛里
保健衛生、安全対策	10月14日	10月15日	10月30日	長峰 幸子
食育、アレルギー対応	11月2日	11月11日	12月18日	村田智亜紀
保育者支援、子育て支援	11月4日	11月12日	12月14日	山田友香理
乳児保育	12月16日	1月5日	1月15日	古木 雅代
マネジメント	1月13日	2月3日	2月15日	野口 雅子
保育実践	1月24日	2月4日	2月13日	村田智奈美

※保育実践研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

(2) 保育技術専門研修

テーマ	第1回	受講者
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の見取り方	10月13日	村田智奈美
特別支援教育 一個別の教育支援計画等の作成	11月17日	大塚 愛里

(3) 祥風会スキルアップ研修

テーマ	第1回	受講者
自分の役割と仕事のゴールを考える	12月14日	クラスリーダー 7人 その他の職員 3人
仕事の行動を経営理念として関連付けて整理する	3月1日	〃
経営理念実現のための一歩先の仕事をイメージする	3月29日	〃

(4) 桜川保育園全体会議及び保育士研修会

- ・日 時 令和2年12月22日
- ・内 容 ①全体会議 保育園職員としての感想
②研 修 「保育士等キャリアアップ研修」受講者による研修内容の伝達
- ・受講者 ①全体会議 職員全員
②研 修 保育士

(5) 社会福祉施設長資格認定講習過程

- ・期 間 令和2年4月1日から1年間（4学期制）
- ・方 法 通信学習（自宅学習）、スクーリング（集合研修）
- ・内 容 社会福祉概論 ほか15教科
- ・受講者 宇都野 和司

※スクーリング（集合研修）については、新型コロナウイルス感染症の影響により映像受講となる。

(6) O J T (On The Job Training)

- ・随時開催